

2023年度

(2023年4月1日から)
(2024年3月31日まで)

第13期事業報告書

目 次

I	2023年度事業の概要	1
1.	消費者啓発・情報提供活動	1
2.	学術振興事業	2
3.	調査・研究活動	2
II	2023年度事業別活動状況	3
I	消費者啓発・情報提供活動	3
1.	生活設計・生活保障に関する教育活動	3
(1)	中学校向け活動	3
(2)	高等学校向け活動	4
(3)	大学向け活動	4
(4)	社会人向け活動	5
(5)	教員向け活動	6
2.	消費者団体等との連携・交流活動	7
(1)	消費生活相談員等への情報提供	7
(2)	消費者団体及び各種団体等との交流・連携	8
3.	情報提供活動	9
(1)	ホームページ	9
(2)	動画による情報提供	10
(3)	各種小冊子による情報提供	11
(4)	相談対応活動	12
(5)	広報活動	13
(6)	「各社個人保険商品一覧」の作成	14
II	学術振興事業	15
1.	保険研究の活性化に向けた取組み	15
(1)	研究会の運営	15
(2)	研究者への支援	16
(3)	学術振興委員会	17
2.	学術交流の促進に向けた取組み	17
(1)	保険学セミナー・保険学セミナー懇談会<東京、大阪>	17
(2)	講演会	17
3.	情報提供活動	18
(1)	生命保険論集	18
(2)	生命保険判例集	18
(3)	保険事例研究会レポート	18
(4)	WEB版「生命保険用語英和・和英辞典」のメンテナンス	18

4. 関連諸学会との連携	18
(1) 生命保険経営学会との連携	18
(2) 日本保険学会との連携	19

Ⅲ 調査・研究活動	20
------------------	----

1. 調査活動	20
(1) 「ライフマネジメントに関する高年齢層の意識調査」(第2回)の実施	20
(2) 「生命保険に関する全国実態調査」(第21回)の企画・検討	21
(3) 個票データの学術的活用の促進	22
2. 研究機能の強化	22

Ⅳ 諸会議開催状況	23
------------------	----

資 料 編

1. 第61回中学生作文コンクール都道府県別応募状況・入賞者数一覧	27
2. 生命保険実学講座開催状況一覧	28
3. 生命保険学習会開催状況一覧	40
4. 相談員勉強会開催状況一覧	42
5. 相談内容別件数(一般相談)	44
6. 新聞・雑誌・テレビからの取材対応	45
7. 研究会の開催状況	46
8. 研究助成者・研究テーマ一覧	49
9. 保険学セミナー・保険学セミナー懇談会の開催状況	51
10. 生命保険論集の掲載状況	53

I 2023年度事業の概要

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行を受けて社会経済活動の正常化、活性化が進んだ。一方で、自然災害の頻発や激甚化、国際的な緊張の高まりや経済環境の変動等により、国民のリスク全般に対する意識と社会保障制度への関心は一層高まっており、当センターに期待される役割はますます重要になっているとの認識のもと事業を推進した。

消費者啓発・情報提供活動においては、自助・共助・公助や民間保険、リスク管理等といった中学校・高等学校の新学習指導要領の内容及び成年年齢引下げを踏まえ、中学生・高校生・大学生向けの生活設計・生活保障教育の更なる拡充を図った。また、学生からシニア層までの各世代に対応したより実践的な教育・啓発に取り組むとともに、ホームページや小冊子等を通じた適切な情報提供に努めた。学術振興事業においては、研究会運営や研究助成等の研究者への支援を通じて、生命保険に関する研究の活性化に注力するとともに、保険学セミナー等の開催・運営による学術交流の促進に取り組んだ。調査・研究活動においては、第2回となる「ライフマネジメントに関する高年齢層の意識調査」を実施するとともに、2024年度に実施する第21回「生命保険に関する全国実態調査」の企画案を策定した。

1. 消費者啓発・情報提供活動 [公益目的事業1、一部共益事業]

<2023年度基本方針>

- (1) 生命保険実学講座や生命保険学習会等の講師派遣において、引き続き、対面による講座だけではなく、リアルタイムの双方向によるオンライン講座や動画を録画したオンデマンド方式の講座といった非対面による講座を選択肢として提供するとともに、YouTube や Twitter といった SNS を使った啓発・情報提供活動を積極的に行う。
- (2) 「中学生作文コンクール」については、2022年度は応募校数 935 校・応募作品数 29,822 編となった。引き続き、中学生作文コンクールに取り組む学校へのサポートツールとしての動画提供や中学生向け授業の活用等を通じ、あわせて周辺団体と連携した広報活動を行うことにより、中学生作文コンクールのさらなる普及・浸透を図る。
- (3) 学校教育用副教材や生命保険実学講座について、新学習指導要領や成年年齢引下げの実施を踏まえ、また、教員との懇談会や夏季セミナー等を通して中学校社会科教員、高等学校家庭科・公民科教員との接点を拡大し教材に関する情報収集を行うことにより、学校現場の実状に即したより効果的なものとする。また、大学生向けには、アクティブ・ラーニングを取り入れた講座資料や講座展開案を活用した講座を実施する。

- 中学校から大学までの生徒・学生を対象に、当センター職員が講師となり、生活設計・生活保障に関する基礎知識を伝える「生命保険実学講座」は、全国各地で 661 回（2022年度：687 回）実施した。学校からの要請に応じて、Zoom 等を活用した双方向によるオンライン講座や講義を収録した動画を提供するオンデマンド講座を実施した（661 回のうち、オンライン講座 28 回、オンデマンド講座 73 回）。また、大学生向けには、2022年度に作成したアクティブ・ラーニングを取り入れた講座資料や生活設計・社会保険・生命保険にそれぞれ特化した 3 種類の講義展開案を活用した講座を実施した。

* オンライン講座・オンデマンド講座の詳細については、5 ページ参照。

- 第 61 回「中学生作文コンクール」において、全国の中学校 813 校から 26,221 編（2022年度（第 60 回）：応募校数 935 校・応募作品数 29,822 編）の応募があった。引き続き、中学生向け副読本「生命保険って何だろう？」を広く配布し、あわせてサポートツールとして動画を提供することにより、中学生作文コンクールの普及・浸透を図った。また、今年度は教員だけではなく、生徒への直接周知を図るため、生徒向けの案内チラシを作成し、希望する学校へ広く配布した。

- 2023年8月に、日本損害保険協会との共催で、全国の中学校・高等学校の家庭科教員及び社会科・公民科教員を対象に、教員対象セミナーを開催した。引き続き、会場参加だけでなく、リアルタイムのオンラインによる参加も可能とした。

	生命保険実学講座	生命保険学習会	相談員勉強会	ホームページアクセス件数	消費者向け小冊子頒布部数
2021年度	557回	78回	49回	630万件	15万部
2022年度	687回	96回	65回	672万件	13万部
2023年度	661回	99回	70回	736万件	10万部

* ホームページアクセス件数は、2022年度まではユニバーサルアナリティクス、2023年度からはGoogleアナリティクス4で計測した数値。

* 上記実施回数のうち、①オンライン講座として実施したのは、生命保険実学講座28回、生命保険学習会15回、相談員勉強会8回、合計51回、②オンデマンド講座として実施したのは、生命保険実学講座73回、生命保険学習会5回、相談員勉強会0回、合計78回。

2. 学術振興事業 [公益目的事業2、一部共益事業]

<2023年度基本方針>

- (1) 広く「保険」を対象とした研究活動の活性化を推進するとともに、生命保険業界の中長期的な課題（人口減少等）をテーマとした新研究会を立ち上げる。また、既存の各種研究会への若手研究者の参加促進に積極的に取り組み、保険研究者の裾野の拡大及び生命保険に関する研究の活性化を支援する。
- (2) 各種研究会に加え、保険学セミナー、国内外の有識者による講演会、研究助成者の優秀論文表彰式等の場を通じ、産学の接点をより充実させ、学術交流・学際交流の促進に取り組む。その運営にあたっては、開催方式（対面、オンライン及びその併用）の利点を考慮しつつ、状況に応じて柔軟に実施する。

- 「家族が多様化する時代の保険のあり方に関する研究会」を含む各種研究会を、若手研究者の参加推進を図りつつ運営するとともに、若手研究者を中心とした研究支援として13件の研究助成を実施するなど、保険研究者の裾野の拡大に注力した。
- 研究会等については、開催方式の利点を考慮しつつ、対面及びオンラインで開催した。学術交流の促進についても、保険学セミナー及び同懇談会を状況に応じて対面及びオンラインで実施した。また、過去に接点のあった保険周辺分野の若手研究者に向けて保険学セミナー入会案内等の勧奨活動を実施した。

3. 調査・研究活動 [公益目的事業3]

<2023年度基本方針>

- (1) 「ライフマネジメントに関する高齢者の意識調査（仮称）」（第2回）について、4～5月に実査を実施し、12月に報告書を発行する。
- (2) 2024年度実施予定の「生命保険に関する全国実態調査」（第21回）について、企画案の策定及び実施準備を行う。

- 「ライフマネジメントに関する高齢者の意識調査（仮称）」（第2回）については、「ライフマネジメントに関する高年齢層の意識調査」に名称を変更の上、4～5月に調査を実施し、12月に報告書を発行した。
- 世帯における生命保険の加入実態、生命保険についての考え方等を3年毎に調査する「生命保険に関する全国実態調査」（第21回）の実施準備を行った。

※共益事業…公益目的事業（不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの）以外の事業

Ⅱ 2023年度事業別活動状況

I 消費者啓発・情報提供活動

〔公益目的事業1、一部共益事業〕

1. 生活設計・生活保障に関する教育活動

(1) 中学校向け活動

① 中学生向け生命保険実学講座

- 生活設計・生活保障に関する実践的教育の機会として、中学生向けの講座を展開した。社会科における講座では、新学習指導要領の内容を踏まえた副教材を活用した。また、国語科・家庭科・総合的な学習の時間における講座では、身近なリスクに備えることの大切さについて考えさせることを目的とした副教材を活用した。(全国で25校・57回(うち社会科7回、国語科6回、家庭科20回、総合学習その他24回)開催・受講者数2,369名)

② 「中学生作文コンクール」の実施

- 「わたしたちの暮らしと生命保険」を課題に第61回中学生作文コンクールを実施し、全国の中学生に生命保険制度の役割や意義を考える機会を提供した(後援:文部科学省・金融庁・全日本中学校長会、協賛:生命保険協会)。
- 2023年5月中旬に応募要項を全国の中学校に発送し、9月8日に応募を締め切り、813校から26,221編の作文が寄せられた。応募締切後、2次の審査を経て、10月3日に開催された最終審査委員会において、文部科学大臣賞1名、全日本中学校長会賞1名、生命保険文化センター賞1名、優秀賞5名の全国賞入賞者8名を決定した。
- 全国賞入賞者8名を東京に招いた表彰式及び懇親パーティーを11月17日に開催した。
- 全国賞入賞作品8編を掲載した作品集を2023年10月に作成し、生命保険各社に有償斡旋した結果、1,711部の申込みがあった。また、全国賞入賞作品8編に表彰式・夕食会の模様や来賓の挨拶などを加えた入賞作品集を2024年2月に作成した。



[中学生作文コンクール 応募状況]

	応募校数		応募作品数	
		前年度比		前年度比
2021年度(第59回)	1,023校(10.1%)	116%	34,657編(1.07%)	133%
2022年度(第60回)	935校(9.3%)	91%	29,822編(0.92%)	86%
2023年度(第61回)	813校(8.1%)	87%	26,221編(0.82%)	88%

* 応募校数の()内は全国中学校数比、応募作品数の()内は全国中学校生徒数比。

* 都道府県別応募状況等は、後掲資料編27ページ参照。

③ 「教員との懇談会」実施による副教材及び動画の検証・改訂

- オンラインにより、国語科教員との懇談会を実施した(1回)。中学生作文コンクールに関する情報収集として、夏休みの課題やポスター、各種サポートツール等について意見聴取を行った。懇談会における意見を踏まえ、各種サポートツールの改訂及び中学生作文コンクールサポート動画の一部タイトルの変更を行った。

- 東京で対面とオンラインの併用により、社会科教員との懇談会を実施した（1回）。社会科向け副教材 50分授業セット「人生100年時代に必要な備えとは？」を教員の授業実施経験に基づき検証し、ブラッシュアップを図った。
- 東京・大阪で対面とオンラインの併用により、高等学校家庭科教員との懇談会を実施した（各1回）。懇談会に参加した中高一貫校を含む各校の教員から意見を収集するとともに、中学校家庭科等（国語科・総合学習等含む）向け副教材 50分授業セット「リスクに備える」を教員の授業実施経験に基づき検証し、ブラッシュアップを図った。

（2）高等学校向け活動

① 高校生向け生命保険実学講座

- 家庭科向けには「リスク管理など不測の事態の対応」「預貯金や民間保険などの資金計画」、公民科向けには「自助、共助及び公助の重要性」といった新学習指導要領の内容を踏まえた講座を開催した。また、成年年齢引下げをテーマとした副教材を活用した講座を積極的に展開した。学年単位の総合的な学習の時間においても、これらの講座を学校の要望に応じて開催した。（全国で109校・439回（うち家庭科183回、公民科21回、総合学習その他235回）開催・受講者数17,442名）

② 「教員との懇談会」実施による副教材の検証・改訂

- 東京で対面とオンラインの併用により、公民科教員との懇談会を実施した（1回）。公民科向け副教材 50分授業セット「自助・共助・公助について考えよう」を教員の授業実施経験に基づき検証し、ブラッシュアップを図った。
- 家庭科教員との懇談会（前記（1）③）において、2種類の家庭科向け副教材 50分授業セット「生活設計とリスクへの備え」「事例から考えるリスクマネジメント」及び2022年度から実施された成年年齢引下げを踏まえた副教材 50分授業セット「成年になるということ」を教員の授業実施経験に基づき検証し、ブラッシュアップを図った。また、懇談会における意見を踏まえ、高等学校向け副教材「君とみらいとライフプラン」において、人生100年時代を想定した生活設計ができるよう、ライフプラン表を80歳以降も記入できる仕様へと改訂した。
- 懇談会における意見を踏まえ、講義展開を自由にカスタマイズできるよう、中学校・高等学校向けの各種副教材を補足する形で、生命保険、社会保障制度、資産形成、働き方・キャリア、契約・消費者トラブルの計5種類の参考スライド集を新たに作成した。

（3）大学向け活動

① 大学生向け生命保険実学講座

- 大学生向け冊子「生活設計とリスク管理」を活用した講座を中心に、生命保険の基礎知識や年金、医療、介護といった専門的なテーマの講座を含めて開催した。（全国で大学では82校・128回開催・受講者数10,121名、短期大学では12校・14回開催・受講者数698名、専門学校では17校・23回開催・受講者数913名）
- そのうち、2022年度に作成したアクティブ・ラーニングを取り入れた講座資料や生活設計・社会保険・生命保険にそれぞれ特化した3種類の講義展開案を活用した講座として、8大学・1短期大学で10回実施した。

② 「教員との懇談会」実施による副教材の検証・改訂

- 東京で対面とオンラインの併用により、大学教員との懇談会を実施した（1回）。大学生向け冊子「生活設計とリスク管理」の内容検証及びアクティブ・ラーニングを取り入れた講座展開案等の内容検証を行い、ブラッシュアップを図った。

③ 業界横断的な金融経済教育への取組み

- 2023年11月に、生命保険協会及び日本損害保険協会と、「保険教育に関する包括連携協定」を締結した。ライフプラン等を踏まえたリスクに対する自助努力の重要性を学ぶための保険教育について、密接に相互連携及び協働して取り組むことで、保険分野における金融リテラシー向上を図ることを目的としている。
- 引き続き、金融関連団体連携による大学生向けの連携講座において、「リスクに備える」をテーマとして、18大学に講師派遣を行った。
 - * 上記記載の連携講座における講師派遣は、(3)大学向け活動、①大学生向け生命保険実学講座の実績回数に含まれる。

<生命保険実学講座合計実績>

- 上記(1)～(3)のように、生命保険実学講座として、中学校、高等学校、大学、短期大学、専門学校生徒・学生に、生活設計・生活保障に関する基礎知識を学ぶ機会を提供することを目的に、教員の協力を得て講義時間の一部を利用して、当センター職員が講師となって実施した。(25中学校・109高等学校・82大学・12短期大学・17専門学校、計245校で661回開催、受講者数31,543名)
- 学校からの要請に応じて、Zoom等を活用した双方向によるオンライン講座や講義を収録した動画を提供するオンデマンド講座を実施した。245校で661回開催した生命保険実学講座のうち、オンライン講座は28回(1中学校で1回、6高等学校で9回、12大学で16回、2専門学校で2回)、オンデマンド講座は73回(3中学校で14回、12高等学校で45回、9大学で14回)であった。オンデマンド講座の動画は、迅速に汎用性の高いものを提供できるように、一定数の要請がある中学生向け、高校生向け、大学生向けにオンデマンド用定型動画を作成、活用している。

[開催回数・受講者数]

	開催回数		受講者数	
		前年度比		前年度比
2021年度	557回	152%	27,192名	128%
2022年度	687回	123%	32,559名	120%
2023年度	661回	96%	31,543名	97%

* 生命保険実学講座の開催状況は、後掲資料編28～39ページ参照。

* 2023年度の開催回数は、生命保険協会地方事務局長へ講師業務を委託した18回分(9ページ③「生命保険協会地方事務室との連携」に記載)を含む。

(4) 社会人向け活動

① 生命保険学習会の実施

- 全国各地の消費者行政機関・消費者団体等が主催する消費者向けの学習会と、企業・官公庁等が主催する従業員・職員向けの学習会に、生活設計・生活保障に関する正しい知識と、各年代層のニーズに適したより効果的な情報の提供を目的に、当センター職員を講師として派遣した。(全国で99回開催・受講者数4,444名)
- 主催者からの要請に応じて、99回開催した生命保険学習会のうち、オンライン講座は15回(消費者向け3回、従業員・職員向け12回)、オンデマンド講座は5回(消費者向け3回、従業員・職員向け2回)であった。

[開催回数・受講者数]

	開催回数		受講者数	
		前年度比		前年度比
2021年度	78回	124%	4,397名	158%
2022年度	96回	123%	6,741名	153%
2023年度	99回	103%	4,444名	66%

* 2023年度の開催回数は、生命保険協会地方事務局長へ講師業務を委託した3回分(9ページ「③生命保険協会地方事務室との連携」に記載)を含む。

[学習会種類別の開催回数]

	消費者向け	従業員・職員向け	合計
2021年度	24回	54回	78回
2022年度	27回	69回	96回
2023年度	41回	58回	99回

* 生命保険学習会の開催状況は、後掲資料編40～41ページ参照。

② 若年社会人に対する教育

- 若年社会人向けの生活設計・生活保障教育の一環として、専門高校(農業・工業・商業高校等)等の主に卒業を控えた生徒や保健所・保健センター等を通じた子育て世代を対象に、「ほけんのキホン for Beginners」の無償配布に注力した。

[提供部数]

提供先	提供部数
専門高校等の主に卒業を控えた生徒	134,453部 (122,273部)
子育て世代	14,500部 (14,612部)
合計	148,953部 (136,885部)

()内は2022年度

- 「ほけんのキホン for Beginners」の無償配布とあわせた解説講座を開催した。(全国で専門高校等の主に卒業を控えた生徒向けに31校・37回開催・受講者数3,256名、子育て世代向けに9回開催・受講者数196名)

* 上記記載の「専門高校等の主に卒業を控えた生徒を対象とした講座」は、(2)高等学校向け活動 高校生向け生命保険実学講座に、「子育て世代向けの講座」は、(4)社会人向け活動 消費者向けと従業員・職員向けの生命保険学習会の実績回数に含まれる。

(5) 教員向け活動

① 「教員対象夏季セミナー」の開催(日本損害保険協会と共催)

- 2023年8月に、全国の中学校・高等学校の家庭科教員及び社会科・公民科教員を対象に夏季セミナーを開催した。会場参加だけではなく、オンラインでの参加も可能とした。(①8月2日東京、社会科・公民科向け:会場参加10名・オンライン参加6名、②8月3日東京、家庭科向け:会場参加34名・オンライン参加51名、③8月4日大阪、家庭科向け:会場参加20名・オンライン参加16名、3日間合計137名)
- 家庭科向けセミナーは「くらしとリスク管理」、社会科・公民科向けセミナーは「社会保障教育における『民間保険(自助)』の役割」をテーマとし、科目ごとにきめ細やかな情報提供を行うため、昨年度に引き続き、家庭科向けと社会科・公民科向けに分けてセミナーを開催した。
- 神奈川大学の梶ヶ谷穰特任准教授による基調講演、家庭科教員による生活設計やリスク管理に関する授業実践報告、公民科教員による社会保障制度や民間保険に関する授業実践報告、及びグループ形式による意見交換を実施した。

〈基調講演〉

- ・講演タイトル：『「金融（保険や資産形成など）」を、家庭科・公民科でどう教えるか』
- ・講演者：神奈川大学 梶ヶ谷 穰 特任准教授

〈授業実践報告〉

- 高等学校家庭科授業実践報告
 - ・講演タイトル：『「時間」に着目してリスク管理を捉える授業』
 - ・講演者：大阪府立天王寺高等学校 家庭科教諭 谷 昌之 氏
- 高等学校公民科授業実践報告
 - ・講演タイトル：『社会保障制度と民間保険に関する公民科の授業実践』
 - ・講演者：東京都立文京高等学校 公民科教諭 石川 周子 氏

② 教員対象勉強会への講師派遣

- 各地の教員が所属する研究会等からの要請に応じて、副教材の活用方法及び社会保険・生命保険に関する内容をテーマとする勉強会に講師を派遣した。（全国で3回開催・受講者数100名。うち2回については、日本損害保険協会と共催で実施。）

③ 学校教育用副教材の提供

- 学校における生活設計・生活保障に関する教育活動の促進のため、学校教育用副教材を希望する学校・教員に無償提供した。

[提供部数]

教材名	提供部数
「生命保険って何だろう？」（中学校用）	53,546部（56,222部）
「君とみらいとライフプラン」2023年度版（高等学校用） ・生徒用ワークブック ・教員用手引き	127,329部（123,780部） 1,421部（949部）
「生活設計とリスク管理」（大学用）	10,000部（11,982部）

（ ）内は2022年度

- * 「生命保険って何だろう？」は、中学生作文コンクール生徒用副読本として、「君とみらいとライフプラン」「生活設計とリスク管理」は、生命保険実学講座のテキストとしても利用。上記提供部数は実学講座開催時の利用部数を含む。

2. 消費者団体等との連携・交流活動

（1）消費生活相談員等への情報提供

① 相談員等を対象とした勉強会の実施

1) 相談員勉強会

- 相談業務に役立てていただくことを目的に、消費生活センターの相談員や消費者団体が行う生命保険の勉強会等に、当センター職員を講師として派遣した。（全国で8回開催・受講者数147名）

2) 相談員等の地域別講習会

- 相談員等への定期的な情報提供機会の拡大を目的に、全国消費生活相談員協会、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会とそれぞれ連携し、地域別講習会を開催した。（全国で9回開催・受講者数159名）

3) 暮らしの設計講習会等

- 日本消費者協会とタイアップし、消費生活コンサルタント等を対象に、生命保険に関する情報提供と相談業務に役立つ有益な知識の付与を目的として「暮らしの設計講習会」を1983年度以降毎年開催している。また、「消費生活コンサルタント養成講座」への講師派遣も行っている。タイアップによる講習会等を全国で2回開催し、受講者数15名。

* 消費生活コンサルタントは、日本消費者協会が主催する消費生活コンサルタント養成講座の修了者。

4) 消費者行政等との意見交換会の場を活用した勉強会

- 生命保険協会との共催により全国54地域で実施する消費者行政等との意見交換会の場を活用し、行政担当者や消費生活相談員に対して、「医療保障と介護保障」「最近の保険商品のポイント」「相談事例から学ぶ生命保険」をテーマに勉強会を開催した。(全国で51回開催・受講者数471名)

<相談員等を対象とした勉強会合計実績>

- 上記①の1)相談員勉強会、2)相談員等の地域別講習会、3)暮らしの設計講習会等、4)消費者行政等との意見交換会の場を活用した勉強会を合わせて70回開催・受講者数792名。
- 主催者からの要請に応じて、70回開催した相談員等を対象とした勉強会のうち、オンライン講座は8回であった。

[開催回数・受講者数]

	開催回数		受講者数	
		前年度比		前年度比
2021年度	49回	111%	831名	166%
2022年度	65回	133%	918名	110%
2023年度	70回	108%	792名	86%

* 相談員勉強会の開催状況は、後掲資料編42～43ページ参照。

* 2023年度の開催回数は、生命保険協会地方事務局長へ講師業務を委託した2回分(9ページ「③生命保険協会地方事務室との連携」に記載)を含む。

② 「生命保険・相談マニュアル」の配布

- 消費者からの相談業務に携わる消費生活相談員に役立てていただくことを目的として、1985年の初版作成から改訂を重ねている。全国の消費生活センターの消費生活相談員等を中心に548部を無償配布した。また、相談員等を対象とした勉強会でも積極的に本マニュアルを使用し、活用促進を図った。

(2) 消費者団体及び各種団体等との交流・連携

① 消費者団体等との交流

- 生命保険協会が主催する、国民生活センター、全国消費生活相談員協会、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会等、消費者団体との意見交換会に出席(14回)し、更なる連携強化を図った。

② 日本消費者教育学会との連携

- 消費者教育の発展を目的に、日本消費者教育学会が推薦する消費者教育に関する優れた研究に対し、副賞として「生命保険文化センター賞」を授与している。
- 2023年度は、10月7・8日にオンラインで開催された日本消費者教育学会第43回総会において次の方に上記の副賞を授与した。

- 受賞者（2名）
- ・加賀 恵子 氏（国立大学法人 弘前大学）
 - ・高橋 義明 氏（明海大学）

③ 生命保険協会地方事務室との連携

- 各地の教育委員会や消費生活センター、金融広報委員会、生命保険協会で奨学金を支給している介護福祉士・保育士養成給付型奨学金制度指定校の短期大学・専門学校への講師派遣案内活動、地方新聞社への小冊子改訂や中学生作文コンクール等の記事掲載案内活動について、業務を委託した。
- 生命保険協会地方事務局長による講師派遣案内活動により、介護福祉士・保育士養成給付型奨学金制度指定校で生命保険実学講座を開催した（28回・受講者数 876名）。
 - * 上記の「介護福祉士・保育士養成給付型奨学金制度指定校」で開催した生命保険実学講座は、4ページ記載の1. 生活設計・生活保障に関する教育活動、(3) 大学向け活動の短大生・専門学校生向け生命保険実学講座の実績回数に含まれる。
- 講師派遣活動において、生命保険協会地方事務局長に講師業務を23回委託した（生命保険実学講座18回、生命保険学習会3回、相談員勉強会2回）。
 - * 上記の「生命保険実学講座」は、4ページ記載の1. 生活設計・生活保障に関する教育活動、(3) 大学向け活動の短大生・専門学校生向け生命保険実学講座の実績回数に、「生命保険学習会」は、5ページ記載の1. 生活設計・生活保障に関する教育活動、(4) 社会人向け活動の生命保険学習会の実績回数に、「相談員勉強会」は、7ページ記載の2. 消費者団体等との連携・交流活動、(1) 消費生活相談員等への情報提供、①相談員等を対象とした勉強会の実績回数に含まれる。

3. 情報提供活動

(1) ホームページ

① ホームページ及びWEBマガジンによる情報提供の充実

1) ホームページ

- 当センターの活動や生命保険・生活設計に関する最新かつ適切な情報を広くタイムリーに提供しており、アクセス件数は約7,358,064万件と、前年度に比べて9.5%増加した。

[アクセス件数]

	アクセス件数 [*]	
		前年度比
2021年度	6,299,082件	138.5%
2022年度	6,717,901件	106.6%
2023年度	7,358,064件	109.5%

* アクセス件数は、2022年度まではユニバーサルアナリティクス、2023年度からは Google アナリティクス 4 で計測した数値。

- 新規ページ「生命保険の種類（主契約・特約・その他）」の公開
ホームページコンテンツ「ほけんガイドWeb」と「知っておきたい生命保険の基礎知識」の重複部分を集約するため、両コンテンツの内容を新規ページ「生命保険の種類（主契約・特約・その他）」に統合し、「ほけんガイドWeb」のページを閉鎖した。新規ページ「生命保険の種類（主契約・特約・その他）」には、主契約17種類、特約23種類、その他6種類の生命保険商品に関する説明を掲載している。
- ホームページコンテンツ「ひと目でわかる生活設計情報」の新規ページを8タイトル作成した。

分野	タイトル
病気・ケガ	特定の病気などに備える生命保険の加入率は？
介護	民間の介護保険・介護特約の加入率は？
老後	民間の個人年金保険の加入率は？
家計・資産形成	生命保険の加入経路は？
教育	海外留学について知りたい
家計・資産形成	インターネットで商品やサービスを購入する人はどれくらいいる？
病気・ケガ	電話・オンライン診療について知りたい
教育	成年年齢の引下げについて知りたい

- ホームページコンテンツ「生命保険 Q&A」の新規ページを 8 タイトル作成した。

分野	タイトル
年金に関する Q&A	Q. 個人年金保険の年金を繰り下げて受け取ることはできますか？
生命保険に関する Q&A	Q. 死亡保険金受取人が被保険者より先に死亡していた場合、保険金は誰が受け取る？
税金に関する Q&A	Q. 同じ年に満期保険金と解約返戻金を受け取りました。両方とも一時所得ですがどうやって計算しますか？
税金に関する Q&A	Q. 外貨建て生命保険の場合の税金の取扱いは？
税金に関する Q&A	Q. 生命保険料控除の申告を忘れてしまったのですが、あとから申告できますか？
税金に関する Q&A	Q. 保険金や年金を受け取っても所得税の申告が不要な場合とは？
税金に関する Q&A	Q. 保険金を「受け取れる年」と実際に「受け取った年」が違う場合はいつの所得になる？
税金に関する Q&A	Q. 保険金などを受け取る場合、なぜ生命保険会社にマイナンバーを申告するの？

2) WEB マガジン

- WEB マガジンとして、生命保険や社会保障制度、生活設計等に関するエッセイを年間 12 回掲載した。2023 年度は保険ジャーナリスト (3 回)、大学講師 (3 回)、大学准教授 (3 回)、税理士 (3 回) が執筆した。
- 中学校・高等学校における生活設計や金融等に関する授業実践事例を紹介する「教育の現場から」を年間 5 回掲載・提供した。

② メールマガジンによる情報提供

- 生命保険や社会保障制度、生活設計等について、タイムリーに適切な情報提供を行うため、メールマガジンを月 2～3 回程度、年間 39 回 (2022 年度 36 回) 発行した。
- 生命保険実学講座や生命保険学習会の受講者、生命保険協会との共催により実施する消費者行政等との意見交換会の参加者等に対して、メールマガジンの案内チラシを配布し、積極的に案内活動を行った。結果、メールマガジン登録者数は、2024 年 3 月末現在で 29,683 名 (2023 年 3 月末比 17 名増) となった。

(2) 動画による情報提供

- 冊子やホームページで提供している情報をもとに、若者世代向けと子育て世代向けの動画を 2 本作成し、当センター YouTube 公式チャンネルで公開した。また、視聴回数増加を企図し、過去に公開した 5 本の動画のサムネイルを改訂した。

【2023 年度に公開した動画テーマ】

- ①知っておこう！若者世代に必要な保障とは～自分を守る生命保険～
- ②知っておこう！子育て世代に必要な保障とは～家族を守る生命保険～

(3) 各種小冊子による情報提供

- 4 冊子（うち 1 冊子は小幅改訂）を改訂し、定年、年金、遺族保障、生活設計等に関する最新の情報を提供した。
- 2020 年 12 月から開始した電子書籍の販売（Amazon Kindle）を継続した。

[改訂した小冊子の主な改訂内容]

小冊子名	改訂月	主な改訂内容
定年 Go! 小幅改訂・プレス なし	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・2022（令和 4）年度の年金制度改正（繰上げ・繰下げ受給、在職老齢年金など）を反映し、2023（令和 5）年度の年金額に更新。 ・国民年金基金、公的年金シミュレーターの説明を追加。 ・所得税速算表(P28)、相続税速算表(P31)、贈与税速算表(P32)を追加。 ・贈与税について、暦年課税と相続時精算課税制度を掲載。2024（令和 6）年 1 月以降の贈与について補足説明を記載。 ・2022（令和 4）年 10 月の後期高齢者医療制度改正（自己負担割合 2 割負担など）を反映。 ・2021（令和 3）年 8 月の高額介護サービス費制度改正を反映。 ・生命保険契約例の保険料最新化。
ねんきんガイド	7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・2023（令和 5）年度の年金額（新規裁定者・既裁定者）や加算額を掲載(P6)。事例計算(P12-17)や年金額早見表(P8、30、34)などにも反映。 ・マクロ経済スライドや年金額の改定ルールについて解説(P7)。公的年金制度の財源の範囲内で年金額が調整され、賃金や物価の変動に合わせて年金額が改定されることについて解説。 ・生命保険の契約や受取のときに「知っておきたい制度」をまとめて掲載(P43)。指定代理請求制度（特約）、保険契約者代理制度（特約）、家族（情報）登録制度、生命保険契約照会制度、成年後見制度の仕組みを説明。 ・掲載データの最新化。「生活保障に関する調査」（2022 年度）の最新データを掲載(P3、38)。その他掲載データも最新情報に更新。
遺族保障ガイド	11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・2023（令和 5）年度の税制改正を反映(P32-33)。 ・2024（令和 6）年 1 月以降の生前贈与について、図表を用いて解説。 ・新ページ「データでみる相続・遺言・生前贈与」を追加(P22-23)。 ・必要保障額の計算事例（6 つ）を最新化(P16-20)。 ・掲載データの充実・最新化。

ライフプラン 情報ブック	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・特集「データでみる物価の上昇」「データでみる賃金の上昇」を新規掲載(P10-11)。 ・「遺言書に何を書く?」(P20)、「海外留学と奨学金」(P31)、「リフォーム費用はいくらくらい?」(P33)を新規掲載。 ・「出産や育児に関する公的保障からの給付は?」(P25)、「公的な遺族年金の仕組みは?」(P35)、「公的な障害年金の仕組みは?」(P43)、「公的な老齢年金の仕組みは?」(P46)などの情報を最新化。 ・掲載データの最新化。
-----------------	----	---

[小冊子の提供部数]

(単位:部)

小冊子名	提供部数 (紙+電子書籍)	提供部数 (紙)	うち有償分	電子 書籍
2021年度(4冊子改訂)	147,330	145,962	119,453	1,368
2022年度(5冊子改訂)	129,995	128,765	109,905	1,230
2023年度(4冊子改訂)	99,024	97,860	83,103	1,164
ねんきんガイド	27,840	27,623	23,895	217
知っておきたい生命保険と税金の知識	12,588	12,378	12,293	210
医療保障ガイド	7,920	7,797	7,715	123
ほけんのキホン	10,934	10,864	7,784	70
介護保障ガイド	4,815	4,718	4,639	97
ライフプラン情報ブック	14,602	14,370	10,693	232
定年Go!	8,304	8,193	7,863	111
遺族保障ガイド	12,021	11,917	8,221	104

(4) 相談対応活動

- 相談対応は、消費者からの生命保険に関する相談に対し、公正・中立な立場から情報提供と助言を行うことを目的としている。また、相談内容の集計・分析により消費者相談の傾向を把握し、当センターの情報提供活動に活用するとともに、一般に公表している。相談内容を集計、分析した結果は「生命保険相談レポート」として上期版と年度版の2回発行している。
- 2023年度の相談受付件数は756件で、2022年度(811件)に比べて55件減少した。

[相談受付件数の推移]

	年間累計	前年度比
2021年度	944件	70%
2022年度	811件	86%
2023年度	756件	93%
うち来所	5件	-

* 新型コロナウイルス感染拡大防止のため2020年度から休止していた来訪相談を、2023年5月に再開した。

- 当センターでは相談内容を「一般相談」と「生命保険会社の経営に関する相談」に区分している。「一般相談」は748件で、2022年度(802件)に比べて54件減少した。「生命保険会社の経営に関する相談」は8件で、2022年度(9件)に比べて1件減少した。

- 「一般相談」の内訳をみると、「生命保険の仕組み・税金・保全に関する相談」の占率が52.8%と最も多く、次いで「生命保険の加入検討の相談」(9.0%)、「既契約の診断・内容確認に関する相談」(8.8%)の順となった(「その他」17.1%を除く上位3項目)。

[一般相談内容の内訳(件数、占率)]

年度	1. 税金・生命保険の仕組み・保全に関する相談	2. 生命保険の加入検討の相談	3. 既契約の診断・内容確認に関する相談	4. 契約条件に関する相談	5. 既契約の見直しに関する相談	6. 社会保障制度に関する相談	7. その他	合計
2021年度	512件 54.9%	100件 10.7%	72件 7.7%	56件 6.0%	34件 3.6%	28件 3.0%	131件 14.0%	933件 100%
2022年度	433件 54.0%	66件 8.2%	65件 8.1%	51件 6.4%	22件 2.7%	23件 2.9%	142件 17.7%	802件 100%
2023年度	395件 52.8%	67件 9.0%	66件 8.8%	45件 6.0%	24件 3.2%	23件 3.1%	128件 17.1%	748件 100%

* 相談内容別件数(一般相談)は、後掲資料編44ページ参照。

(5) 広報活動

① プレスリリースの実施

- 当センターの活動がマスコミに取り上げられることにより、当センターの活動を知っていただき、消費者の生命保険への関心の向上につながることを目的としている。小冊子改訂、中学生作文コンクール及び調査等に関する計6回のプレスリリースの発行を通じて、情報提供を行った。

[プレスリリース発行回数・内訳(全国紙・地方紙)]

	内 訳			合計
	小冊子改訂	中学生作文コンクール	その他	
2021年度	4回	2回	3回	9回
2022年度	4回	2回	1回	7回
2023年度	3回	2回	1回	6回

* プレスリリースは、小冊子改訂、中学生作文コンクール関連(募集・入賞者決定)及び調査等の回数。

② プレスリリースによる全国紙・地方紙への記事掲載について

- 記事掲載数は延べ151件（2022年度計7回延べ171件）となった。

[プレスリリース記事掲載状況（全国紙・地方紙）]

（単位：件）

		内 訳			合計
		小冊子改訂	中学生作文コンクール	その他	
2021年度	全国紙	4	2	7	13
	地方紙	77	84	19	180
	合計	81	86	26	193
2022年度	全国紙	1	1	0	2
	地方紙	61	102	6	169
	合計	62	103	6	171
2023年度	全国紙	3	0	1	4
	地方紙	38	103	6	147
	合計	41	103	7	151

③ 上記②以外の記事掲載等について

- 記事掲載数は、延べ175件（うち新聞59件、業界紙76件、雑誌39件、情報誌1件）となった。掲載内容の内訳は、「調査」が97件、「講師派遣・小冊子・中学生作文コンクール」が8件、「その他」が70件だった。
- 2023年度のテレビ放映は次のとおり。
 - ・中学生作文コンクール：三重テレビ（三重県）6/13、6/20

④ その他マスコミからの取材対応

- 当センターの活動内容の周知や消費者への情報提供を目的に、新聞・雑誌・テレビ等の取材に対応している。
- 新聞・雑誌・テレビ等からの取材対応は15回（2022年度12回）。

[取材内容・件数]

取 材 内 容	新聞	雑誌	テレビ	計
生命保険の仕組み及び利用の仕方	1件	0件	0件	1件
全国実態調査などのデータの活用	1件	0件	1件	2件
その他	12件	0件	0件	12件
計	14件	0件	1件	15件

* 取材内容は、後掲資料編45ページ参照。

⑤ X（旧 Twitter）による情報発信

- 各種小冊子や消費者啓発動画の公開、中学生作文コンクールに関する情報など、プレスリリースに関する内容を中心にX（旧 Twitter）への投稿を15回実施した。

（6）「各社個人保険商品一覧」の作成 【共益事業】

- 「各社個人保険商品一覧」は、相談受付時の参考資料として活用することを目的に、各社の個人保険商品の主契約（保険種類別）、特約（各社別）の特徴や仕組み等をまとめ、毎年作成している。
- 毎年4月時点で生命保険会社が販売している個人向け商品を収録し（2023年度は生保42社の商品を掲載）、2023年9月に生命保険会社、生命保険協会、生命保険協会地方事務室等に無償提供した。また、生命保険会社各社からの追加の申込みに対して、有償で385部を提供した。

Ⅱ 学術振興事業

〔公益目的事業2、一部共益事業〕

(*座長・指導者等の所属は2023年度のもの)

1. 保険研究の活性化に向けた取組み

(1) 研究会の運営

① 保険事例研究会<東京、大阪>

- 学者、弁護士、業界専門家をメンバーとして、生命保険を中心とした保険全般に関する最新の判例研究を行った。

[研究会メンバー構成]

	座長	学者	弁護士	業界専門家	合計
東京	山下 友信 名誉教授 (東京大学)	40名	28名	54名	122名
大阪	竹瀨 修 教授 (立命館大学)	28名	42名	8名	78名

* 研究会の登録メンバー数は、2024年3月末時点の登録数。以下同じ。

* 東京、大阪ともに、医学的アドバイザー1名が参加(業界専門家に含める)。

* 他に傍聴希望者(東京32名、大阪104名)が参加。

- 東京及び大阪で各々年間9回開催した。
- 研究成果は研究会開催の都度、「保険事例研究会レポート」にとりまとめ、関係各方面に配布した。
* 研究会の開催状況は、後掲資料編46ページ参照。

② 生保・金融法制研究会<大阪>

- 関西の保険法関係の学者と業界専門家をメンバーとして、生命保険・金融に関する法制全般に関する研究を行った。

[研究会メンバー構成]

座長	学者	業界専門家	合計
洲崎 博史 教授 (同志社大学)	11名	19名	30名

- 研究会は5回開催した。
* 研究会の開催状況は、後掲資料編47ページ参照。

③ 生命保険会計研究会 〔共益事業〕

- 会計研究者、アナリスト等の有識者と業界専門家をメンバーとして、国際会計基準審議会(IASB)における審議等を踏まえつつ、生命保険会計や会計全般に関する研究を行った。

[研究会メンバー構成]

座長	学者	有識者	業界専門家	合計
弥永 真生 教授 (明治大学)	8名	2名	8名	18名

- 研究会は5回開催した。
* 研究会の開催状況は、後掲資料編47ページ参照。

④ 生保関係法制研究会<東京>

- 関東を中心とした保険法関係の学者と業界専門家をメンバーとして、生命保険を中心とした金融関連法に関する研究を行った。

[研究会メンバー構成]

座長	学者	業界専門家	合計
野村 修也 教授 (中央大学)	18名	10名	28名

- 研究会は6回開催した。
* 研究会の開催状況は、後掲資料編 47 ページ参照。

⑤ 生命保険基本判例研究会 [共益事業]

- 保険法学者、弁護士を指導者とし、生保各社の支払査定部門・契約審査部門・法務部門・商品開発部門等を担う中堅職員をメンバーとして、基本的な保険判例の理解力と生命保険約款解釈の基礎的能力の向上を図り、次代を担う中堅職員の育成を目指して基本的な判例の研究を行った。
- 運営にあたっては、質問担当会社を設定するなどの工夫を行い、討議の活性化に注力している。

[研究会メンバー構成]

指 導 者	学 者	弁 護 士	業 界 担 当 者	合 計
潘 阿憲 教授 (法政大学) 山下 典孝 教授 (青山学院大学) 遠山 聡 教授 (専修大学) 岡野谷 知広 弁護士 (河村法律事務所)	3 名	1 名	52 名	56 名

- 研究会は8回開催した。
* 研究会の開催状況は、後掲資料編 48 ページ参照。

⑥ 家族が多様化する時代の保険のあり方に関する研究会 [共益事業]

- 多様なライフコースを前提とした生命保険の役割、市場、商品や加入経路等の変化を捉えるべく、代表的な標準モデルではない層 (生涯独身者や離別者など) にも着目し、必要とする保障や支援について幅広く考えるべく、研究を行った。

[研究会メンバー構成]

座 長	学 者	業 界 専 門 家	合 計
山田 昌弘 教授 (中央大学)	7 名	7 名	14 名

- 研究会設置期間：2023年4月～2025年3月
- 研究会は6回開催した。
* 研究会の開催状況は、後掲資料編 48 ページ参照。

(2) 研究者への支援

① 研究助成

- 生命保険及びこれに関連する分野の研究支援を目的として、若手研究者及び一般研究者 (教授等) を対象に募集を行い、学術振興委員会で審議のうえ、若手研究者8件、一般研究者5件の計13件 (うち共同研究3件) に対して助成金を支給した。
* 研究助成者・研究テーマの一覧は、後掲資料編 49～50 ページ参照。
- 2021年度研究助成者の成果論文について学術振興委員会で審議を行った。その結果、「最優秀論文賞」「優秀論文賞」「研究奨励賞」のいずれも該当者なしと決定した。

② 大学ゼミナール活動への支援

- 東京学生保険ゼミナールに対し、活動経費の支援を行った。
* 参加校：慶應義塾大学、専修大学、東洋大学、日本大学、明治大学、早稲田大学 (50音順掲載)
- 全国学生保険学ゼミナール [Risk and Insurance Seminar ; RIS] に対し、活動経費の支援を行った。
* 参加校：関西大学、九州産業大学、京都産業大学、慶應義塾大学、西南学院大学、拓殖大学、同志社女子大学、東洋大学、長崎県立大学、日本大学、福岡大学、明治大学、早稲田大学 (50音順掲載)

- 独自に報告会を開催した大学ゼミナール(1ゼミ)に対し、活動経費の支援を行った。

③ 若手研究者の発掘・育成（支援）

- 研究助成への応募案内や実学講座の紹介、保険学セミナーへの参加案内を行い、若手研究者との関係構築・強化への取組みを行った。

(3) 学術振興委員会

- 2023年6月に、2023年度研究助成者の審議及び2021年度研究助成者の成果論文に対する評価を行った。
- 2023年11月に、次年度研究助成の募集要項の内容及び生命保険論集の取組みに関する検討を行った。

2. 学術交流の促進に向けた取組み

(1) 保険学セミナー・保険学セミナー懇談会〈東京、大阪〉

- 大学研究者及び業界関係者をメンバーとして、保険学セミナー及び保険学セミナー懇談会を東京及び大阪で各々年間6回開催した。
- 保険学セミナーは大学研究者の研究発表・討議の場、保険学セミナー懇談会は大学研究者に対する業界情報の提供の場として運営した。
- 運営にあたっては、討議の活性化、魅力度の向上を図るべく、事前質問制度の活用や中堅教授による報告回数を増やすなど、運営面について幅広く検討・工夫を行った。
- 若手研究者の育成（支援）の一環として、研究助成者に報告の機会を提供した。

[セミナー会員構成]

	幹 事	学 者	業界関係者	合 計
東京	金岡 京子 教授 (東京海洋大学) 得津 晶 教授 (一橋大学) 柳瀬 典由 教授 (慶應義塾大学)	135 名	73 名	208 名
大阪	原 弘明 教授 (関西大学) 石田 成則 教授 (関西大学)	87 名	23 名	110 名

* 金岡氏は2023年11月まで、得津氏は2023年12月から幹事を担当。

* セミナー会員数は2024年3月末時点の会員数。

* 保険学セミナー・同懇談会の開催状況は、後掲資料編51～52ページ参照。

(2) 講演会

① 公開講演会 [共益事業]

- 一般消費者及び生命保険業界関係者を対象に、生命保険及び関連分野に関する動向などの情報提供を目的に以下のとおり公開講演会を開催した。
 - ・開催日 2024年1月31日
 - ・テーマ 人的資本経営の真意と企業が採るべき人事戦略
 - ・講師 守島 基博 氏 (学習院大学 教授・一橋大学 名誉教授)
 - ・参加者数 213名 (うち一般117名、生命保険業界96名)
 - * オンライン参加192名、対面参加21名
 - ・開催方法 対面とオンライン (Zoom ウェビナー) の併用開催

② 海外の有識者による講演会等

- 2023年度は開催なし。

3. 情報提供活動

(1) 生命保険論集

- 保険学の発展に資することを目的に、生命保険を中心とした保険全般に関する研究論文集を発行している。2023年度は、6月、9月、12月、3月の年4回発行した。
- 学者、業界関係者、関係諸機関を対象に391部を毎号無償で配布したほか、有料の購読会員を募集した結果、448名の申込みがあった。
- 当センター主催の研究会等での報告から6編を「生命保険論集」に掲載した。
* 掲載状況は、後掲資料編53～54ページ参照。
- 6月号において、2023年2月に開催した公開講演会の講演録1編を掲載した。
- 6月号において、全国学生保険学ゼミナール(RIS)から推薦を受けた2022年度の優秀論文を「学生論文」として1編掲載した。
- 2023年10月、当センターホームページの「学術出版物検索・閲覧」に、2022年度発行分を追加掲載し閲覧できるようにした(毎年10月、前年度発行分を追加掲載)。
- 2022年度発行分をJ-Stageへ掲載した。

(2) 生命保険判例集

- 生命保険判例の提供を通じ、保険法の研究、保険会社の実務やコンプライアンス推進に資することを目的に、2017～2018年の判例108件を収録した「生命保険判例集第27巻」を、2024年2月にCD-ROMで発行した。
- 「生命保険判例集第28巻」以降の発行準備作業を進めた(第28巻は2019～2020年の判例を収録、2024年度中に発行予定)。

(3) 保険事例研究会レポート

- 学界、法曹界、生命保険業界等で実務・理論両面に資することを目的とした保険事例研究会(15ページ)の成果をレポート形式にまとめ、保険事例研究会実施後発行した(年9回)。
- 保険事例研究会参加の学者、弁護士、生命保険会社各社、及び最高裁判所等の関係諸機関を対象に317部を毎号無償で配布したほか、有料の購読会員を募集した結果、464名の申込みがあった。
- 2023年10月、当センターホームページの「学術出版物検索・閲覧」に、2022年度発行分を追加掲載し閲覧できるようにした(毎年10月、前年度発行分を追加掲載)。

(4) WEB版「生命保険用語英和・和英辞典」のメンテナンス

- WEB版「生命保険用語英和・和英辞典」では、新規語・修正語について随時内容を検討し、4項目を掲載(修正・追加含む)した。

4. 関連諸学会との連携

(1) 生命保険経営学会との連携

- 生命保険業界関係者を中心とする生命保険経営学会との連携を通じ、生命保険経営の理論・研究への支援を行った。

(2) 日本保険学会との連携

- 保険学・保険法の研究者や実務家を中心とする日本保険学会との連携を通じ、保険理論・研究の発展に対する支援を行った。
- 2017 年度から 7 年間にわたり事務局業務を受託していたが、同学会の覚書に則り 2024 年 3 月末日をもって、損害保険事業総合研究所に移管した。
- 大会や総会、理事会、各種委員会等の運営、機関誌「保険学雑誌」の発行（年 4 回）等を行うとともに、2024 年度から損害保険事業総合研究所へ事務局を移管すべく、1 年を通じて引継ぎを行った。

1. 調査活動

(1) 「ライフマネジメントに関する高齢層の意識調査」(第2回)の実施

- 多様化する長寿社会に対する高齢層の考え方、生活の実態・意向等を把握し、これからの長寿社会のあり方を検討することを目的に、2020年から実施している。
- 2023年4～5月に調査を実施し、2023年12月に報告書を発行した。また、調査結果の概要、集計表、報告書をホームページに掲載した。

[2023年度調査の調査設計]

(1) 調査地域	全国 (200 地点)
(2) 調査対象	60 歳以上の男女個人
(3) 回収数	2,084
(4) 抽出方法	層化二段無作為抽出法
(5) 調査方法	留置調査
(6) 調査時期	2023 年 4 月 6 日～5 月 28 日

[主な調査内容]

1. 日常生活、自身の行動・性格
健康状態、食生活、歩行量、運転習慣、社会貢献活動の実施状況・実施意向、自身の行動・性格
2. 金融・保険に関する知識
金融に関する知識、保険に関する知識
3. 老後資金
公的年金の繰下げ受給に関する認知、受給開始年齢を遅らせる際の検討基準
4. 生活保障
老後資金への経済的不安感、老後資金の経済的準備状況、病気・ケガに対する経済的不安感、医療に関する経済的準備状況、自分が要介護状態になることへの経済的不安感、自分の介護に関する経済的準備状況、万一死亡した際の経済的不安感、自身が万一死亡した際の経済的準備状況
5. 財産管理
相続準備実態、判断能力が不十分なときの準備実態、判断能力が不十分なときの相談相手
6. その他
何歳まで生きたいか、人生全般に関する後悔、幸福度

[主な調査結果]

- 健康状態と医療・介護・遺族保障
 - (1) 日常生活に支障が生じているのは80歳以上で顕著
 - (2) 医療・介護費用の生活費に占める割合が高い80歳代以上
 - (3) 経済的不安は「介護保障」「医療保障」「老後保障」の順で高い
 - (4) 医療保障準備手段として「生命保険」が最も多い60～74歳
 - (5) 遺族保障準備手段としての「生命保険」は、60歳代で「預貯金」と拮抗
- 家族状況、判断能力低下時の対応
 - (1) 高い年齢層ほど多い家族形態は「単身」「自分(夫婦)と子と孫」
 - (2) 判断能力低下時への準備は、「準備なし」が5割超だが減少、最も多い準備方法は「家族に自分の希望を伝えている」
 - (3) 判断能力低下時の相談相手は、「子ども」「配偶者」が過半数

- (4) 判断能力低下時に、家族や成年後見人に望む金融資産の取扱い方は、「適切に運用する」が 31.9%、「そのまま保持する」が 15.7%

●家計・就労・老後保障準備

- (1) 60歳代前半では「就労収入」が世帯年収の7割超、70歳以上では「公的年金収入」が7割超
 (2) 就労割合は3割強、退職・引退予定年齢は現在年齢の約5年後まで
 (3) 保険・金融に関する知識は、男性や60歳代前半で高い
 (4) 退職後の資産形成は「預貯金」「生命保険」が中心だが、60歳代前半では「NISA」や「iDeCo」も高い

●生活満足度

- (1) 人生全般において後悔している事項は「学び」「貯蓄」「運動」の順
 (2) 生活満足度が高いのは、女性、長寿、高収入、高資産、健康について支障がない層

(2) 「生命保険に関する全国実態調査」(第21回)の企画・検討

- 一般家庭における生命保険の加入実態を中心に、生活保障に対する意識等も含め時系列で把握することを目的に、1965年から3年に1回の割合で実施している。
- 2023年度は、2024年4～5月の本調査の実施に向け、調査内容の検討及び調査質問票の策定を行った。なお、2024年度から、既存の2人以上世帯を対象とする調査に加え、新たに単身世帯を対象とする調査も実施することとなった。2024年度調査の調査設計及び調査内容は以下のとおりである。

[調査設計]

<2人以上世帯>	
(1) 調査地域	全国(400地点)
(2) 調査対象	世帯員2人以上の一般世帯
(3) 回収目標数	4,000
(4) 抽出方法	層化二段無作為抽出法
(5) 調査方法	留置調査(訪問留置、訪問回収法)
(6) 調査時期	2024年4～5月
<単身世帯>	
(1) 調査地域	全国
(2) 調査対象	単身世帯 20～79歳男女
(3) 回収目標数	2,200
(4) 抽出方法	調査会社のモニター(性別×年齢階級×地域区分の構成比を人口統計(令和2年度国勢調査)の構成比に合わせる)
(5) 調査方法	インターネット調査
(6) 調査時期	2024年4月

[主な調査内容]

生命保険の加入実態

1. 生命保険(個人年金保険を含む)の加入状況

加入率、加入件数、加入金額、生命保険の世帯年間払込保険料

2. 個人年金保険と年金型商品の加入状況

個人年金保険と年金型商品の加入率

3. 民保の特定の保障機能を持つ生命保険や特約の加入状況

ガン保険・ガン特約等の加入率

4. 直近加入の生命保険（個人年金保険を含む）

直近加入の民間生命保険の加入状況

5. 民間生命保険の解約・失効の状況

解約・失効の経験、解約・失効の理由

生活保障に対する意識

1. 加入保障内容の充足感

加入保障内容の充足感、支出可能保険料

2. 生活保障に対する考え方

世帯主に万一のことがあった場合の経済的備え

3. 生命保険（個人年金保険を含む）の今後の加入・追加加入意向

加入・追加加入意向の有無

（3）個票データの学術的活用の促進

- 保険及びその周辺分野の研究インフラとして活用することを目的に、当センターホームページ上にデータ利用申請に関する情報を掲載した。
- あわせて、研究の質の向上及び当該分野における研究の裾野の拡充に寄与することを目的に、学部生や修士課程の大学院生を対象に個票データを用いた懸賞論文の募集を行った（2023年度の応募件数は0件）。

2. 研究機能の強化

研究活動

- 当センター内の研究体制の基礎固めに注力し、2023年4月開催の保険学セミナー懇談会（東京）において、「生活保障に関する調査」の調査結果について概要報告を行った。

IV 諸会議開催状況

1. 評議員会

(1) 2023年6月30日開催 定時評議員会

【決議事項】

2022年度第12期決算報告書
評議員選任
評議員会会長選定
理事及び監事選任
代表理事選定
について、原案どおり承認された。

【報告事項】

2022年度第12期事業報告書

【2023年度定時評議員会の議事録署名人選出】

(2) 2024年3月22日（決議の省略）

第1号議案 評議員選任
第2号議案 監事補欠選任

評議員会の目的である議案について、2024年3月22日までに評議員の全員から書面により同意の意思表示を得たため、当該議案を承認可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

2. 理事会

(1) 2023年6月2日開催 第1回通常理事会

【決議事項】

第1号議案 2022年度第12期事業報告書
第2号議案 2022年度第12期決算報告書
第3号議案 内閣府への事業報告等に係る提出書類
第4号議案 2023年度定時評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項
について、いずれも原案どおり議決された。

【報告事項】

代表理事の職務執行状況報告

(2) 2024年2月5日開催 第2回通常理事会

【決議事項】

第1号議案 第14期[2024年度]事業計画書
第2号議案 第14期[2024年度]予算
について、いずれも原案どおり議決された。

【報告事項】

2023年度上期監査結果報告
代表理事の職務執行状況報告

(3) 2024年3月13日（決議の省略）

議案 評議員会（決議の省略）の開催について

理事会の目的である議案について、2024年3月13日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、また監事の全員から書面により異議がない旨の意思表示を得たため、当該議案を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

□ □ □ □ □ □ 資 料 編 □ □ □ □ □ □

1. 第61回中学生作文コンクール都道府県別応募状況・入賞者数一覧

都道府県	応募状況		
	応募校数	応募数	
		学校応募	個人応募
北海道	31	532	1
青森県	18	543	
岩手県	8	82	
宮城県	14	240	2
秋田県	4	16	
山形県	3	26	
福島県	39	557	
茨城県	12	496	
栃木県	11	338	
群馬県	23	395	
埼玉県	44	489	
千葉県	47	1,523	
東京都	52	2,402	3
神奈川県	17	465	
新潟県	4	14	
富山県	20	270	
石川県	2	10	
福井県	12	217	
山梨県	2	7	
長野県	18	635	
岐阜県	11	779	1
静岡県	40	1,425	4
愛知県	23	1,739	1
三重県	11	322	1
滋賀県	20	860	
京都府	21	593	
大阪府	22	2,740	
兵庫県	21	313	
奈良県	11	119	
和歌山県	5	189	
鳥取県	15	331	
島根県	3	74	
岡山県	22	313	1
広島県	24	682	1
山口県	18	603	
徳島県	17	505	
香川県	6	31	
愛媛県	15	382	1
高知県	4	68	
福岡県	29	1,459	2
佐賀県	10	375	
長崎県	7	205	1
熊本県	28	1,126	
大分県	10	181	1
宮崎県	9	218	
鹿児島県	20	265	
沖縄県	10	1,047	
合計	813	26,221	

文部科学大臣賞	全日本中学校長会賞	生命保険文化センター賞	優秀賞	都道府県別生命保険文化センター賞				入賞者数合計
				1等	2等	3等	佳作	
	1			1	3	1	10	16
1			1	1	3	5	8	18
				1	2	3	1	7
		1		1	1		4	7
			1			1	2	4
						1	1	2
			1	1	5	2	11	20
				1		1	8	10
				1	1	2	7	11
				1		3	11	15
				1	4	6	8	19
				1	7	8	35	51
			1	1	14	14	43	73
				1		7	19	27
							2	2
				1		5	6	12
				1	1			2
				1			6	7
				1				1
				1	5	3	12	21
				1	4	5	19	29
				1	9	13	25	48
				1	10	13	37	61
				1			11	12
				1	2	5	21	29
				1		6	10	17
				1	11	16	76	104
				1	1	3	12	17
				1			3	4
				1	4	3	2	10
			1	1	2	7	8	19
						2	2	4
				1	2	7	5	15
				1	4	10	17	32
				1	3	6	19	29
				1	5	8	8	22
					2	1	3	6
				1	2	7	16	26
				1		2	1	4
1			1	1	9	3	26	40
				1			10	11
				1	2	3	5	11
				1	4	14	21	40
				1		3	4	8
				1	1	1	6	9
				1	2	1	6	10
				1	7	7	13	28
1	1	1	5	42	132	208	580	970

2. 生命保険実学講座開催状況一覧

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
1	4月17日	岡山県	岡山大学	生活設計とリスク管理	95
2	4月18日	栃木県	宇都宮大学	生活設計とリスク管理	88
3	4月18日	群馬県	群馬大学	生活設計とリスク管理	70
4	4月19日	東京都	岩倉高等学校	自助・共助・公助について考えよう	286
5	4月20日	長野県	信州大学	生活設計とリスク管理	100
6	4月20日	京都府	京都産業大学	生命保険の基礎知識	90
7	4月21日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	29
8	4月21日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
9	4月21日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	38
10	4月21日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
11	4月21日	沖縄県	琉球大学	生活設計とリスク管理	98
12	4月24日	新潟県	新潟大学	生活設計とリスク管理	103
13	4月25日	岡山県	岡山商科大学	リスクに備える	93
14	4月25日	大阪府	近畿大学	生命保険の基礎知識	64
15	4月26日	東京都	日本女子大学	生活設計とリスク管理	24
16	4月27日	兵庫県	関西学院大学	生命保険の基礎知識	23
17	5月1日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	32
18	5月1日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
19	5月1日	北海道	小樽商科大学	生命保険の基礎知識	85
20	5月2日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	37
21	5月2日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
22	5月2日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	37
23	5月2日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
24	5月8日	東京都	京華女子高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	29
25	5月8日	東京都	京華女子高等学校	成年になるということ	29
26	5月8日	東京都	京華女子高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	27
27	5月8日	東京都	京華女子高等学校	成年になるということ	27
28	5月8日	東京都	青山学院大学	リスクに備える	14
29	5月9日	東京都	京華女子高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	35
30	5月9日	東京都	京華女子高等学校	成年になるということ	35
31	5月10日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	26
32	5月10日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	24
33	5月10日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
34	5月10日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	24
35	5月10日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	34
36	5月10日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
37	5月11日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	36
38	5月11日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
39	5月11日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	28
40	5月11日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	28
41	5月11日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	38
42	5月11日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
43	5月12日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	7
44	5月12日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	28
45	5月12日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	26
46	5月16日	東京都	愛国学園短期大学	君とみらいとライフプラン	33
47	5月17日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	29
48	5月17日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
49	5月17日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	37
50	5月17日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
51	5月17日	東京都	帝京大学	生活設計とリスク管理	24
52	5月17日	東京都	帝京大学	生活設計とリスク管理	25
53	5月18日	埼玉県	埼玉県立吉川美南高等学校	生活設計とリスクへの備え	14
54	5月18日	香川県	香川大学	生活設計とリスク管理	58

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
55	5月19日	愛知県	愛知県立安城高等学校	成年になるということ	34
56	5月19日	愛知県	愛知県立安城高等学校	成年になるということ	35
57	5月23日	山口県	下関市立大学	生命保険と税金の知識	56
58	5月23日	埼玉県	埼玉大学	リスクに備える	65
59	5月23日	東京都	明治大学	公的年金と個人年金	27
60	5月29日	東京都	京華女子高等学校	君とみらいとライフプラン	28
61	5月29日	東京都	京華女子高等学校	生活設計とリスクへの備え	28
62	6月5日	大阪府	関西大学	生活設計とリスク管理	58
63	6月6日	山梨県	都留文科大学	生活設計とリスク管理	63
64	6月6日	東京都	成城大学	生活設計とリスク管理	54
65	6月7日	東京都	京華女子高等学校	君とみらいとライフプラン	25
66	6月7日	東京都	京華女子高等学校	生活設計とリスクへの備え	25
67	6月7日	東京都	東京都立羽村高等学校	成年になるということ	25
68	6月7日	東京都	東京都立羽村高等学校	成年になるということ	28
69	6月7日	東京都	東京都立羽村高等学校	成年になるということ	21
70	6月7日	東京都	東京都立羽村高等学校	成年になるということ	24
71	6月7日	東京都	東京都立羽村高等学校	成年になるということ	21
72	6月7日	東京都	東京都立羽村高等学校	成年になるということ	24
73	6月7日	東京都	東京都立羽村高等学校	成年になるということ	28
74	6月8日	東京都	専修大学	リスクに備える	90
75	6月8日	東京都	京華女子高等学校	君とみらいとライフプラン	34
76	6月8日	東京都	京華女子高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
77	6月8日	東京都	京華女子高等学校	君とみらいとライフプラン	34
78	6月8日	東京都	京華女子高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
79	6月8日	愛知県	椛山女学園大学	生活設計とリスク管理	169
80	6月8日	東京都	明治学院大学	リスクに備える	212
81	6月9日	兵庫県	神戸女子大学	生活設計とリスク管理	37
82	6月12日	大阪府	大阪樟蔭女子大学	生活設計とリスク管理	33
83	6月12日	茨城県	茨城県立鹿島灘高等学校	成年になるということ	8
84	6月12日	茨城県	茨城県立鹿島灘高等学校	成年になるということ	24
85	6月13日	茨城県	茨城県立鹿島灘高等学校	成年になるということ	4
86	6月14日	東京都	東京都立東久留米総合高等学校	君とみらいとライフプラン	17
87	6月14日	東京都	東京都立東久留米総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	17
88	6月14日	大分県	大分大学	生命保険と税金の知識	47
89	6月15日	東京都	日本大学	生活設計とリスク管理	37
90	6月16日	岡山県	岡山大学	生活設計とリスク管理	85
91	6月16日	大阪府	大阪府立工芸高等学校	君とみらいとライフプラン	27
92	6月16日	大阪府	大阪府立工芸高等学校	生活設計とリスクへの備え	27
93	6月16日	大阪府	近畿大学	生命保険の基礎知識	42
94	6月16日	石川県	金沢星稜大学	生活設計とリスク管理	23
95	6月17日	神奈川県	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	生活設計とリスクへの備え	17
96	6月17日	愛知県	滝高等学校	自助・共助・公助について考えよう	24
97	6月19日	東京都	東京理科大学	リスクに備える	55
98	6月21日	大分県	大分大学	生活設計とリスク管理	47
99	6月21日	東京都	東京都立向丘高等学校	成年になるということ	41
100	6月21日	東京都	東京都立向丘高等学校	成年になるということ	34
101	6月21日	東京都	東京都立向丘高等学校	成年になるということ	35
102	6月21日	東京都	東京都立向丘高等学校	成年になるということ	37
103	6月21日	東京都	東京都立向丘高等学校	成年になるということ	40
104	6月21日	東京都	東京都立向丘高等学校	成年になるということ	40
105	6月21日	東京都	東京都立向丘高等学校	成年になるということ	36
106	6月21日	東京都	明治大学	リスクに備える	298
107	6月22日	神奈川県	鎌倉女子大学	生活設計とリスク管理	19
108	6月22日	大阪府	大阪府立貝塚南高等学校	成年になるということ	35
109	6月22日	大阪府	大阪府立貝塚南高等学校	成年になるということ	36
110	6月22日	大阪府	大阪府立貝塚南高等学校	成年になるということ	39

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
111	6月22日	大阪府	大阪府立貝塚南高等学校	成年になるということ	38
112	6月22日	大阪府	大阪府立貝塚南高等学校	成年になるということ	36
113	6月22日	大阪府	大阪府立貝塚南高等学校	成年になるということ	35
114	6月22日	東京都	日本大学	リスクに備える	634
115	6月23日	熊本県	熊本大学	生活設計とリスク管理	8
116	6月23日	東京都	慶應義塾大学	生命保険の基礎知識	11
117	6月23日	長野県	佐久長聖高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
118	6月23日	長野県	佐久長聖高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
119	6月23日	長野県	佐久長聖高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
120	6月23日	長野県	佐久長聖高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
121	6月23日	長野県	佐久長聖高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
122	6月23日	長野県	佐久長聖高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
123	6月23日	長野県	佐久長聖高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
124	6月23日	長野県	佐久長聖高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
125	6月23日	長野県	佐久長聖高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
126	6月23日	長野県	佐久長聖高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
127	6月24日	大阪府	R I S 関西	公的年金と個人年金	35
128	6月27日	青森県	八戸学院大学	生活設計とリスク管理	56
129	6月27日	広島県	広島福祉専門学校	生活設計とリスク管理	21
130	6月27日	大阪府	近畿大学	生活設計とリスク管理	10
131	6月27日	大阪府	近畿大学	生活設計とリスク管理	15
132	6月27日	山口県	山口市立阿東中学校	リスクに備える	31
133	6月27日	山口県	山口市立阿東中学校	リスクに備える	31
134	6月28日	大阪府	東大阪市立玉川中学校	人生100年時代に必要な備えとは？	30
135	6月28日	大阪府	東大阪市立玉川中学校	人生100年時代に必要な備えとは？	33
136	6月28日	大分県	東九州短期大学	生活設計とリスク管理	26
137	6月29日	大阪府	東大阪市立玉川中学校	人生100年時代に必要な備えとは？	31
138	6月29日	大阪府	東大阪市立玉川中学校	人生100年時代に必要な備えとは？	33
139	6月30日	兵庫県	神戸親和大学	リスクに備える	11
140	7月4日	大阪府	大阪樟蔭女子大学	生命保険の基礎知識	43
141	7月4日	愛知県	愛知学院大学	生命保険の基礎知識	164
142	7月4日	長野県	長野大学	リスクに備える	69
143	7月4日	京都府	京都先端科学大学	生活設計とリスク管理	118
144	7月5日	千葉県	松戸市立旭町中学校	リスクに備える	30
145	7月5日	千葉県	松戸市立旭町中学校	リスクに備える	29
146	7月5日	千葉県	松戸市立旭町中学校	リスクに備える	28
147	7月5日	長野県	長野県立大学	リスクに備える	24
148	7月6日	東京都	明星大学	リスクに備える	28
149	7月7日	青森県	八戸市立三条中学校	リスクに備える	92
150	7月11日	静岡県	浜松学院大学	生活設計とリスク管理	21
151	7月11日	京都府	京都先端科学大学	生命保険の基礎知識	101
152	7月13日	千葉県	敬愛大学	公的年金と個人年金	11
153	7月13日	大阪府	近畿大学	生活設計とリスク管理	231
154	7月13日	山梨県	山梨大学	生活設計とリスク管理	48
155	7月14日	岡山県	就実中学校	人生100年時代に必要な備えとは？	89
156	7月18日	富山県	富山県立大門高等学校	君とみらいとライフプラン	103
157	7月18日	富山県	富山県立大門高等学校	生活設計とリスクへの備え	103
158	7月18日	東京都	法政大学	医療保険と介護保険	22
159	7月20日	大分県	佐伯市立直川中学校	リスクに備える	16
160	7月20日	鹿児島県	鹿児島女子短期大学	生活設計とリスク管理	5
161	7月25日	東京都	品川区立伊藤学園	リスクに備える	23
162	7月25日	東京都	品川区立伊藤学園	リスクに備える	22
163	7月25日	東京都	品川区立伊藤学園	リスクに備える	24
164	7月25日	東京都	品川区立伊藤学園	リスクに備える	25
165	7月26日	茨城県	常総学院中学校	リスクに備える	10
166	7月31日	大阪府	大阪桐蔭高等学校	ほけんのキホン for Beginners	28

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
167	8月2日	大阪府	大阪公立大学	生活設計とリスク管理	688
168	8月25日	東京都	多摩美術大学	公的年金と個人年金	10
169	8月25日	東京都	多摩美術大学	生活設計とリスク管理	15
170	9月4日	東京都	明治大学	公的年金と個人年金	19
171	9月4日	福岡県	福岡大学	生命保険の基礎知識	14
172	9月7日	長野県	長野県諏訪清陵高等学校	成年になるということ	421
173	9月8日	群馬県	渋川市立赤城南中学校	成年になるということ	28
174	9月12日	群馬県	渋川市立赤城北中学校	成年になるということ	24
175	9月13日	群馬県	渋川市立金島中学校	成年になるということ	18
176	9月13日	群馬県	渋川市立金島中学校	成年になるということ	19
177	9月14日	香川県	香川大学	生命保険の基礎知識	31
178	9月15日	香川県	香川県立多度津高等学校	成年になるということ	3
179	9月15日	香川県	香川県立多度津高等学校	成年になるということ	26
180	9月15日	香川県	香川県立多度津高等学校	成年になるということ	23
181	9月15日	香川県	香川県立多度津高等学校	成年になるということ	31
182	9月15日	香川県	香川県立多度津高等学校	成年になるということ	26
183	9月15日	香川県	香川県立多度津高等学校	成年になるということ	28
184	9月15日	香川県	香川県立多度津高等学校	成年になるということ	30
185	9月19日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
186	9月19日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
187	9月19日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
188	9月19日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
189	9月20日	沖縄県	沖縄リハビリテーション福祉学院	生活設計とリスク管理	16
190	9月20日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
191	9月20日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
192	9月20日	東京都	東京都立足立高等学校	成年になるということ	13
193	9月21日	京都府	京都府立向陽高等学校	君とみらいとライフプラン	21
194	9月21日	京都府	京都府立向陽高等学校	生活設計とリスクへの備え	21
195	9月21日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
196	9月21日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
197	9月21日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	31
198	9月21日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
199	9月21日	埼玉県	文京学院大学	生活設計とリスク管理	60
200	9月25日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
201	9月25日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	31
202	9月25日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
203	9月25日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
204	9月25日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
205	9月25日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
206	9月26日	愛知県	金城学院大学	生活設計とリスク管理	20
207	9月26日	大阪府	関西大学	生活設計とリスク管理	158
208	9月27日	東京都	東京都立多摩高等学校	成年になるということ	24
209	9月27日	東京都	東京都立多摩高等学校	成年になるということ	24
210	9月27日	東京都	東京都立多摩高等学校	成年になるということ	32
211	9月27日	東京都	東京都立多摩高等学校	成年になるということ	25
212	9月27日	東京都	東京都立多摩高等学校	成年になるということ	22
213	9月27日	愛知県	日本福祉大学	生活設計とリスク管理	124
214	9月28日	埼玉県	文京学院大学	医療保険と介護保険	50
215	9月28日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
216	9月28日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
217	9月28日	京都府	京都府立洛北高等学校附属中学校	成年になるということ	37
218	9月30日	愛知県	滝高等学校	成年になるということ	17
219	10月4日	愛知県	中京大学	生活設計とリスク管理	18
220	10月4日	埼玉県	十文字学園女子大学	生活設計とリスク管理	13
221	10月4日	愛知県	日本福祉大学	公的年金と個人年金	129
222	10月5日	長野県	信州大学	生活設計とリスク管理	30

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
223	10月5日	京都府	京都教育大学	生活設計とリスク管理	22
224	10月5日	埼玉県	文京学院大学	公的年金と個人年金	54
225	10月6日	大阪府	大阪国際大学	生活設計とリスク管理	44
226	10月10日	滋賀県	滋賀大学	生活設計とリスク管理	62
227	10月12日	熊本県	熊本大学	生活設計とリスク管理	66
228	10月12日	千葉県	千葉県立清水高等学校	自助・共助・公助について考えよう	33
229	10月12日	千葉県	千葉県立清水高等学校	自助・共助・公助について考えよう	29
230	10月13日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	君とみらいとライフプラン	30
231	10月13日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
232	10月13日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	君とみらいとライフプラン	29
233	10月13日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
234	10月13日	北海道	札幌大学	生活設計とリスク管理	120
235	10月13日	島根県	島根大学	生活設計とリスク管理	47
236	10月13日	沖縄県	琉球大学	生活設計とリスク管理	104
237	10月17日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	君とみらいとライフプラン	29
238	10月17日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
239	10月17日	群馬県	高崎商科大学	生活設計とリスク管理	16
240	10月18日	福岡県	福岡県立城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
241	10月18日	福岡県	福岡県立城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
242	10月18日	福岡県	福岡県立城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
243	10月18日	福岡県	福岡県立城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
244	10月18日	埼玉県	埼玉大学	生活設計とリスク管理	23
245	10月18日	東京都	東京都立立川国際中等教育学校	君とみらいとライフプラン	34
246	10月18日	東京都	東京都立立川国際中等教育学校	生活設計とリスクへの備え	34
247	10月19日	福岡県	福岡県立城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
248	10月19日	福岡県	福岡県立城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
249	10月19日	福岡県	福岡県立城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
250	10月20日	福岡県	福岡県立城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
251	10月20日	福岡県	福岡県立城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	40
252	10月20日	福岡県	福岡県立城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
253	10月20日	福岡県	福岡県立城南高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
254	10月20日	東京都	東京都立立川国際中等教育学校	君とみらいとライフプラン	35
255	10月20日	東京都	東京都立立川国際中等教育学校	生活設計とリスクへの備え	35
256	10月20日	北海道	札幌大学	生命保険の基礎知識	114
257	10月20日	大阪府	大阪国際大学	生命保険の基礎知識	44
258	10月23日	静岡県	静岡サレジオ中学校	リスクに備える	28
259	10月23日	静岡県	静岡サレジオ中学校	リスクに備える	27
260	10月23日	静岡県	静岡サレジオ中学校	リスクに備える	23
261	10月23日	東京都	東京都立立川国際中等教育学校	君とみらいとライフプラン	36
262	10月23日	東京都	東京都立立川国際中等教育学校	生活設計とリスクへの備え	36
263	10月24日	宮崎県	南九州大学短期大学部	生活設計とリスク管理	3
264	10月24日	三重県	鈴鹿高等学校	自助・共助・公助について考えよう	24
265	10月24日	東京都	東京都立立川国際中等教育学校	君とみらいとライフプラン	31
266	10月24日	東京都	東京都立立川国際中等教育学校	生活設計とリスクへの備え	31
267	10月25日	東京都	東京都立府中東高等学校	君とみらいとライフプラン	31
268	10月25日	東京都	東京都立府中東高等学校	成年になるということ	31
269	10月25日	東京都	東京都立府中東高等学校	君とみらいとライフプラン	35
270	10月25日	東京都	東京都立府中東高等学校	成年になるということ	35
271	10月25日	東京都	東京都立府中東高等学校	君とみらいとライフプラン	30
272	10月25日	東京都	東京都立府中東高等学校	成年になるということ	30
273	10月25日	東京都	東京都立府中東高等学校	君とみらいとライフプラン	35
274	10月25日	東京都	東京都立府中東高等学校	成年になるということ	35
275	10月25日	東京都	東京都立府中東高等学校	君とみらいとライフプラン	36
276	10月25日	東京都	東京都立府中東高等学校	成年になるということ	36
277	10月25日	東京都	東京都立府中東高等学校	君とみらいとライフプラン	36
278	10月25日	東京都	東京都立府中東高等学校	成年になるということ	36

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
279	10月25日	東京都	東京都立府中東高等学校	君とみらいとライフプラン	32
280	10月25日	東京都	東京都立府中東高等学校	成年になるということ	32
281	10月25日	東京都	東京都立府中東高等学校	君とみらいとライフプラン	36
282	10月25日	東京都	東京都立府中東高等学校	成年になるということ	36
283	10月26日	広島県	広島福祉専門学校	生活設計とリスク管理	21
284	10月26日	鳥取県	公立鳥取環境大学	リスクに備える	14
285	10月27日	大阪府	大阪国際大学	公的年金と個人年金	44
286	10月30日	三重県	三重県立菰野高等学校	生活設計とリスクへの備え	59
287	10月30日	三重県	三重県立菰野高等学校	生活設計とリスクへの備え	56
288	10月31日	東京都	東京都立世田谷総合高等学校	君とみらいとライフプラン	3
289	10月31日	東京都	東京都立世田谷総合高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	3
290	10月31日	広島県	県立広島大学	リスクに備える	45
291	10月31日	大阪府	関西大学	生命保険の基礎知識	191
292	11月1日	愛知県	愛知県立犬山総合高等学校	ほけんのキホン for Beginners	76
293	11月1日	高知県	高知市立高知商業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	260
294	11月1日	滋賀県	滋賀短期大学	生活設計とリスク管理	65
295	11月1日	佐賀県	佐賀大学	生活設計とリスク管理	85
296	11月6日	愛媛県	大原簿記公務員専門学校	生命保険と税金の知識	26
297	11月7日	広島県	広島福祉専門学校	生活設計とリスク管理	21
298	11月8日	佐賀県	西九州大学短期大学部	生活設計とリスク管理	60
299	11月8日	北海道	駒澤大学附属苫小牧高等学校	ほけんのキホン for Beginners	14
300	11月8日	北海道	駒澤大学附属苫小牧高等学校	成年になるということ	14
301	11月9日	東京都	東京都立大山高等学校	成年になるということ	25
302	11月10日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	成年になるということ	30
303	11月10日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	成年になるということ	30
304	11月10日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	成年になるということ	25
305	11月10日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	成年になるということ	25
306	11月10日	群馬県	わせがく高等学校	自助・共助・公助について考えよう	76
307	11月10日	群馬県	わせがく高等学校	自助・共助・公助について考えよう	75
308	11月10日	群馬県	わせがく高等学校	自助・共助・公助について考えよう	76
309	11月10日	東京都	嘉悦大学	生命保険の基礎知識	98
310	11月10日	愛知県	中京大学	生命保険の基礎知識	10
311	11月10日	兵庫県	兵庫県立多可高等学校	生活設計とリスクへの備え	43
312	11月10日	大阪府	大阪国際大学	医療保険と介護保険	44
313	11月13日	京都府	福知山成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	49
314	11月13日	京都府	福知山成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	16
315	11月13日	京都府	福知山成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	50
316	11月13日	神奈川県	聖ヶ丘保育専門学校	生活設計とリスク管理	36
317	11月13日	神奈川県	聖ヶ丘保育専門学校	生活設計とリスク管理	63
318	11月14日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	成年になるということ	29
319	11月14日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	成年になるということ	29
320	11月14日	山梨県	都留文科大学	生活設計とリスク管理	61
321	11月14日	広島県	安田女子大学	生活設計とリスク管理	8
322	11月14日	山口県	山口大学	生命保険と税金の知識	24
323	11月15日	三重県	三重県立飯野高等学校	ほけんのキホン for Beginners	121
324	11月15日	愛知県	名古屋短期大学	リスクに備える	49
325	11月16日	大阪府	大阪府立大塚高等学校	成年になるということ	218
326	11月16日	大阪府	近畿大学	生活設計とリスク管理	8
327	11月16日	東京都	帝京大学	生命保険の基礎知識	50
328	11月20日	大阪府	東大阪大学	生活設計とリスク管理	10
329	11月20日	愛知県	愛知文教女子短期大学	生活設計とリスク管理	51
330	11月20日	東京都	東京都立豊島高等学校	成年になるということ	6
331	11月20日	長野県	信州大学	リスクに備える	42
332	11月21日	山形県	羽陽学園短期大学	生活設計とリスク管理	12
333	11月21日	千葉県	淑徳大学	生命保険の基礎知識	52
334	11月21日	東京都	中央大学	リスクに備える	38

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
335	11月22日	兵庫県	兵庫県立篠山鳳鳴高等学校	ほけんのキホン for Beginners	90
336	11月22日	東京都	東京都立武蔵高等学校	成年になるということ	37
337	11月22日	東京都	東京都立武蔵高等学校	成年になるということ	38
338	11月22日	東京都	東京都立武蔵高等学校	成年になるということ	35
339	11月24日	岐阜県	岐阜県立恵那南高等学校	ほけんのキホン for Beginners	36
340	11月24日	岡山県	倉敷市立玉島高等学校	生活設計とリスクへの備え	16
341	11月24日	神奈川県	関東学院大学	リスクに備える	12
342	11月27日	兵庫県	神戸電子専門学校	生命保険の基礎知識	12
343	11月27日	兵庫県	神戸電子専門学校	生命保険の基礎知識	12
344	11月27日	愛知県	愛知文教女子短期大学	生活設計とリスク管理	69
345	11月27日	東京都	学習院大学	リスクに備える	135
346	11月27日	愛知県	愛知教育大学	リスクに備える	39
347	11月27日	神奈川県	東洋英和女学院大学	リスクに備える	114
348	11月27日	神奈川県	東洋英和女学院大学	リスクに備える	94
349	11月27日	岡山県	川崎医科大学	公的年金と個人年金	101
350	11月27日	岡山県	川崎医科大学	生活設計とリスク管理	101
351	11月29日	北海道	北海道千歳高等学校	ほけんのキホン for Beginners	95
352	11月29日	新潟県	新潟県立村上高等学校	成年になるということ	19
353	11月29日	東京都	専修大学	リスクに備える	21
354	11月30日	群馬県	渋川市立伊香保中学校	成年になるということ	13
355	12月1日	兵庫県	神戸女子大学	生活設計とリスク管理	54
356	12月1日	奈良県	帝塚山大学	生命保険の基礎知識	5
357	12月4日	大阪府	大阪医療秘書福祉&IT専門学校	生活設計とリスク管理	15
358	12月4日	愛知県	愛知大学	生命保険の基礎知識	168
359	12月4日	大阪府	東大阪大学	生命保険の基礎知識	13
360	12月6日	千葉県	植草学園大学	生活設計とリスク管理	90
361	12月6日	千葉県	和洋女子大学	生命保険の基礎知識	147
362	12月7日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	31
363	12月7日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	31
364	12月7日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	31
365	12月7日	滋賀県	滋賀短期大学	生活設計とリスク管理	127
366	12月7日	福岡県	福岡医療秘書福祉専門学校	生活設計とリスク管理	18
367	12月7日	愛知県	椙山女学園大学	リスクに備える	22
368	12月7日	東京都	東京都立稔ヶ丘高等学校	自助・共助・公助について考えよう	14
369	12月7日	東京都	東京都立稔ヶ丘高等学校	自助・共助・公助について考えよう	13
370	12月7日	東京都	東京都立稔ヶ丘高等学校	自助・共助・公助について考えよう	17
371	12月7日	東京都	東京都立稔ヶ丘高等学校	自助・共助・公助について考えよう	14
372	12月7日	東京都	東京都立稔ヶ丘高等学校	自助・共助・公助について考えよう	18
373	12月7日	東京都	東京都立稔ヶ丘高等学校	自助・共助・公助について考えよう	13
374	12月7日	東京都	東京都立稔ヶ丘高等学校	自助・共助・公助について考えよう	17
375	12月7日	東京都	東京都立稔ヶ丘高等学校	自助・共助・公助について考えよう	15
376	12月7日	東京都	東京都立稔ヶ丘高等学校	自助・共助・公助について考えよう	15
377	12月7日	東京都	東京都立稔ヶ丘高等学校	自助・共助・公助について考えよう	14
378	12月7日	東京都	東京都立稔ヶ丘高等学校	自助・共助・公助について考えよう	16
379	12月8日	大阪府	大学コンソーシアム大阪	リスクに備える	93
380	12月11日	茨城県	茨城県立那珂高等学校	ほけんのキホン for Beginners	141
381	12月11日	京都府	京都経済短期大学	生活設計とリスク管理	93
382	12月12日	大阪府	関西大学	医療保険と介護保険	193
383	12月12日	石川県	金沢星稜大学	生活設計とリスク管理	302
384	12月13日	三重県	三重県立亀山高等学校	ほけんのキホン for Beginners	180
385	12月13日	東京都	東京YMCA医療福祉専門学校	生活設計とリスク管理	27
386	12月14日	兵庫県	兵庫県立但馬農業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	45
387	12月14日	東京都	東京都立北豊島工業高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	21
388	12月14日	東京都	東京都立青山高等学校	成年になるということ	41
389	12月14日	東京都	東京都立青山高等学校	成年になるということ	38
390	12月14日	東京都	東京都立青山高等学校	成年になるということ	33

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
391	12月14日	東京都	東京都立青山高等学校	成年になるということ	36
392	12月14日	東京都	東京都立青山高等学校	成年になるということ	39
393	12月14日	東京都	東京都立青山高等学校	成年になるということ	39
394	12月14日	東京都	東京都立青山高等学校	成年になるということ	40
395	12月15日	鹿児島県	鹿児島キャリアデザイン専門学校	ほけんのキホン for Beginners	436
396	12月15日	香川県	香川県立坂出高等学校	ほけんのキホン for Beginners	241
397	12月15日	東京都	東京都立葛飾商業高等学校	成年になるということ	25
398	12月15日	東京都	東京都立葛飾商業高等学校	成年になるということ	25
399	12月15日	東京都	東京都立葛飾商業高等学校	成年になるということ	22
400	12月15日	東京都	東京都立葛飾商業高等学校	成年になるということ	23
401	12月15日	東京都	東京都立葛飾商業高等学校	成年になるということ	27
402	12月15日	東京都	東京都立葛飾商業高等学校	成年になるということ	27
403	12月15日	静岡県	静岡県立藤枝東高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	9
404	12月18日	東京都	東京都立野津田高等学校	成年になるということ	15
405	12月18日	東京都	東京都立野津田高等学校	成年になるということ	17
406	12月18日	東京都	東京都立野津田高等学校	成年になるということ	30
407	12月18日	東京都	東京都立野津田高等学校	成年になるということ	25
408	12月18日	東京都	東京都立野津田高等学校	成年になるということ	26
409	12月18日	東京都	東京都立砂川高等学校	君とみらいとライフプラン	9
410	12月18日	東京都	東京都立砂川高等学校	成年になるということ	9
411	12月18日	東京都	東京都立砂川高等学校	君とみらいとライフプラン	24
412	12月18日	東京都	東京都立砂川高等学校	成年になるということ	24
413	12月18日	東京都	東京都立砂川高等学校	君とみらいとライフプラン	14
414	12月18日	東京都	東京都立砂川高等学校	成年になるということ	14
415	12月18日	東京都	東京都立砂川高等学校	君とみらいとライフプラン	25
416	12月18日	東京都	東京都立砂川高等学校	成年になるということ	25
417	12月18日	東京都	東京都立砂川高等学校	君とみらいとライフプラン	21
418	12月18日	東京都	東京都立砂川高等学校	成年になるということ	21
419	12月19日	東京都	東京都立稔ヶ丘高等学校	成年になるということ	551
420	12月19日	東京都	東京都立町田工科高等学校	成年になるということ	127
421	12月19日	茨城県	茨城県立波崎柳川高等学校	自助・共助・公助について考えよう	68
422	12月19日	大阪府	関西大学	公的年金と個人年金	196
423	12月20日	埼玉県	埼玉大学	生活設計とリスク管理	20
424	12月21日	東京都	東京都立足立西高等学校	成年になるということ	25
425	12月21日	東京都	東京都立足立西高等学校	成年になるということ	33
426	12月21日	東京都	東京都立足立西高等学校	成年になるということ	35
427	12月21日	東京都	東京都立足立西高等学校	成年になるということ	35
428	12月21日	東京都	東京都立足立西高等学校	成年になるということ	30
429	1月9日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
430	1月10日	石川県	石川県立松任高等学校	ほけんのキホン for Beginners	78
431	1月11日	三重県	三重県立北星高等学校	成年になるということ	45
432	1月11日	三重県	三重県立北星高等学校	成年になるということ	67
433	1月11日	三重県	三重県立北星高等学校	成年になるということ	78
434	1月12日	東京都	早稲田大学	生命保険の基礎知識	61
435	1月13日	大阪府	大阪樟蔭女子大学	生命保険の基礎知識	81
436	1月15日	島根県	島根大学	生命保険の基礎知識	47
437	1月17日	東京都	高千穂大学	公的年金と個人年金	80
438	1月17日	東京都	東京都立竹台高等学校	成年になるということ	33
439	1月17日	東京都	東京都立竹台高等学校	成年になるということ	31
440	1月17日	東京都	東京都立竹台高等学校	成年になるということ	30
441	1月17日	東京都	東京都立竹台高等学校	成年になるということ	29
442	1月17日	東京都	東京都立竹台高等学校	成年になるということ	32
443	1月17日	東京都	東京都立竹台高等学校	成年になるということ	28
444	1月17日	静岡県	静岡県立浜松大平台高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	23
445	1月17日	静岡県	静岡県立浜松大平台高等学校	成年になるということ	23
446	1月18日	東京都	東京都立工芸高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	44

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
447	1月18日	新潟県	北陸福祉保育専門学院	生活設計とリスク管理	7
448	1月18日	京都府	同志社女子大学	生活設計とリスク管理	50
449	1月22日	北海道	北海道旭川農業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	147
450	1月23日	大阪府	大阪公立大学	生活設計とリスク管理	559
451	1月23日	大分県	大分県立臼杵高等学校	自助・共助・公助について考えよう	37
452	1月23日	大分県	大分県立臼杵高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
453	1月23日	大分県	大分県立臼杵高等学校	自助・共助・公助について考えよう	35
454	1月23日	大分県	大分県立臼杵高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
455	1月24日	三重県	三重県立朝明高等学校	成年になるということ	63
456	1月24日	三重県	三重県立朝明高等学校	成年になるということ	22
457	1月24日	三重県	三重県立朝明高等学校	成年になるということ	28
458	1月24日	三重県	三重県立朝明高等学校	成年になるということ	31
459	1月24日	広島県	広島大学	リスクに備える	160
460	1月24日	大分県	大分県立臼杵高等学校	自助・共助・公助について考えよう	39
461	1月24日	大分県	大分県立臼杵高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
462	1月25日	北海道	函館大谷短期大学	生活設計とリスク管理	42
463	1月25日	埼玉県	埼玉県立八潮高等学校	ほけんのキホン for Beginners	102
464	1月25日	大分県	大分県立臼杵高等学校	自助・共助・公助について考えよう	30
465	1月25日	大分県	大分県立臼杵高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
466	1月25日	大分県	大分県立臼杵高等学校	自助・共助・公助について考えよう	38
467	1月25日	大分県	大分県立臼杵高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
468	1月26日	長崎県	海星高等学校	ほけんのキホン for Beginners	144
469	1月29日	大分県	大分県立大分商業高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
470	1月29日	大分県	大分県立大分商業高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
471	1月29日	大分県	大分県立大分商業高等学校	生活設計とリスクへの備え	40
472	1月29日	大分県	大分県立大分商業高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
473	1月29日	大分県	大分県立大分商業高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
474	1月29日	大分県	大分県立大分商業高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
475	1月29日	神奈川県	神奈川県立秦野総合高等学校	成年になるということ	156
476	1月29日	沖縄県	ソーシャルワーク専門学校	生活設計とリスク管理	17
477	1月29日	沖縄県	ソーシャルワーク専門学校	生活設計とリスク管理	17
478	1月29日	静岡県	静岡県立吉原工業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	102
479	1月30日	大分県	大分県立大分商業高等学校	自助・共助・公助について考えよう	38
480	1月30日	大分県	大分県立大分商業高等学校	自助・共助・公助について考えよう	34
481	1月30日	大分県	大分県立大分商業高等学校	自助・共助・公助について考えよう	39
482	1月30日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
483	1月31日	大分県	大分県立大分商業高等学校	自助・共助・公助について考えよう	40
484	1月31日	大分県	大分県立大分商業高等学校	自助・共助・公助について考えよう	35
485	1月31日	大分県	大分県立大分商業高等学校	自助・共助・公助について考えよう	35
486	1月31日	兵庫県	兵庫県立西脇北高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	3
487	1月31日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
488	2月1日	香川県	香川県立小豆島中央高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	22
489	2月1日	香川県	香川県立小豆島中央高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	31
490	2月1日	香川県	香川県立小豆島中央高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	30
491	2月1日	香川県	香川県立小豆島中央高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	31
492	2月1日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
493	2月2日	福岡県	平岡介護福祉専門学校	生活設計とリスク管理	23
494	2月2日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
495	2月5日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
496	2月5日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
497	2月5日	静岡県	静岡県立伊豆総合高等学校	ほけんのキホン for Beginners	11
498	2月6日	鹿児島県	鹿児島県立垂水高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	8
499	2月6日	鹿児島県	鹿児島県立垂水高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	15
500	2月6日	鹿児島県	鹿児島県立垂水高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	8
501	2月6日	長崎県	長崎県立川棚高等学校	ほけんのキホン for Beginners	46
502	2月7日	千葉県	流山市立西初石中学校	リスクに備える	26

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
503	2月7日	千葉県	流山市立西初石中学校	リスクに備える	25
504	2月7日	千葉県	流山市立西初石中学校	リスクに備える	25
505	2月7日	千葉県	流山市立西初石中学校	リスクに備える	25
506	2月7日	京都府	京都府立北桑田高等学校	ほけんのキホン for Beginners	43
507	2月8日	鹿児島県	鹿児島県立串良商業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	52
508	2月9日	群馬県	群馬県立伊勢崎工業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	185
509	2月9日	群馬県	群馬県立利根実業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	98
510	2月9日	静岡県	静岡県立静岡中央高等学校	ほけんのキホン for Beginners	41
511	2月13日	東京都	聖学院高等学校	自助・共助・公助について考えよう	27
512	2月13日	東京都	聖学院高等学校	自助・共助・公助について考えよう	28
513	2月13日	東京都	聖学院高等学校	自助・共助・公助について考えよう	28
514	2月13日	東京都	東京都立武蔵丘高等学校	成年になるということ	38
515	2月13日	東京都	東京都立武蔵丘高等学校	成年になるということ	36
516	2月13日	東京都	東京都立武蔵丘高等学校	成年になるということ	36
517	2月13日	東京都	東京都立武蔵丘高等学校	成年になるということ	37
518	2月13日	東京都	東京都立武蔵丘高等学校	成年になるということ	35
519	2月13日	東京都	東京都立武蔵丘高等学校	成年になるということ	37
520	2月13日	東京都	東京都立武蔵丘高等学校	成年になるということ	35
521	2月13日	東京都	東京都立武蔵丘高等学校	成年になるということ	39
522	2月14日	東京都	東京都立晴海総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
523	2月14日	東京都	東京都立晴海総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
524	2月14日	千葉県	流山市立西初石中学校	成年になるということ	26
525	2月14日	千葉県	流山市立西初石中学校	成年になるということ	25
526	2月14日	千葉県	流山市立西初石中学校	成年になるということ	25
527	2月14日	千葉県	流山市立西初石中学校	成年になるということ	25
528	2月14日	三重県	ユマニテク医療福祉大学校	公的年金と個人年金	24
529	2月14日	三重県	ユマニテク医療福祉大学校	生活設計とリスク管理	24
530	2月15日	香川県	四国学院大学専門学校	生活設計とリスク管理	11
531	2月15日	東京都	東京都立瑞穂農芸高等学校	ほけんのキホン for Beginners	144
532	2月16日	青森県	向陵高等学校	ほけんのキホン for Beginners	41
533	2月16日	大阪府	堺市立陵南中学校	成年になるということ	31
534	2月16日	大阪府	堺市立陵南中学校	成年になるということ	31
535	2月16日	大阪府	堺市立陵南中学校	成年になるということ	31
536	2月16日	大阪府	堺市立陵南中学校	成年になるということ	31
537	2月16日	大阪府	堺市立陵南中学校	成年になるということ	30
538	2月16日	熊本県	熊本県立南稜高等学校	ほけんのキホン for Beginners	18
539	2月16日	熊本県	熊本県立南稜高等学校	ほけんのキホン for Beginners	16
540	2月16日	鹿児島県	鹿児島県立医療福祉専門学校	生活設計とリスク管理	10
541	2月20日	茨城県	茨城県立坂東清風高等学校	成年になるということ	20
542	2月20日	茨城県	茨城県立坂東清風高等学校	成年になるということ	30
543	2月20日	長崎県	長崎県立鳴滝高等学校	ほけんのキホン for Beginners	12
544	2月21日	茨城県	茨城県立坂東清風高等学校	成年になるということ	27
545	2月21日	茨城県	茨城県立坂東清風高等学校	成年になるということ	20
546	2月21日	茨城県	茨城県立坂東清風高等学校	成年になるということ	27
547	2月22日	長野県	長野県中野立志館高等学校	ほけんのキホン for Beginners	148
548	2月26日	岡山県	岡山医療福祉専門学校	生活設計とリスク管理	40
549	2月26日	東京都	貞静学園高等学校	生活設計とリスクへの備え	182
550	2月27日	宮城県	宮城県多賀城高等学校	成年になるということ	264
551	2月28日	沖縄県	沖縄アカデミー専門学校	生活設計とリスク管理	16
552	2月28日	群馬県	前橋市立箱田中学校	人生100年時代に必要な備えとは？	99
553	2月28日	愛知県	弥富市立弥富中学校	成年になるということ	61
554	2月28日	愛知県	弥富市立弥富中学校	成年になるということ	59
555	2月28日	愛知県	弥富市立弥富中学校	成年になるということ	59
556	2月28日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	38
557	2月28日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	36
558	2月28日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	40

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
559	2月28日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	37
560	2月28日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	39
561	2月28日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	39
562	2月28日	群馬県	前橋市立明桜中学校	成年になるということ	26
563	2月28日	群馬県	前橋市立明桜中学校	成年になるということ	26
564	2月28日	群馬県	前橋市立明桜中学校	成年になるということ	28
565	2月29日	群馬県	前橋市立箱田中学校	成年になるということ	99
566	2月29日	東京都	江東区立第三亀戸中学校	成年になるということ	45
567	2月29日	東京都	江東区立第三亀戸中学校	リスクに備える	45
568	2月29日	東京都	江東区立第三亀戸中学校	成年になるということ	49
569	2月29日	東京都	江東区立第三亀戸中学校	リスクに備える	49
570	2月29日	神奈川県	川崎市立幸高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	36
571	2月29日	神奈川県	川崎市立幸高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	37
572	2月29日	神奈川県	川崎市立幸高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	37
573	2月29日	神奈川県	川崎市立幸高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	37
574	2月29日	神奈川県	川崎市立幸高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	37
575	2月29日	神奈川県	川崎市立幸高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	36
576	2月29日	神奈川県	川崎市立幸高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
577	2月29日	神奈川県	川崎市立幸高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
578	2月29日	神奈川県	川崎市立幸高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
579	2月29日	神奈川県	川崎市立幸高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
580	2月29日	神奈川県	川崎市立幸高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
581	2月29日	神奈川県	川崎市立幸高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
582	3月4日	埼玉県	さいたま市立指扇中学校	リスクに備える	124
583	3月4日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	39
584	3月4日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
585	3月4日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	38
586	3月4日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
587	3月4日	大分県	大分中学校	リスクに備える	36
588	3月5日	埼玉県	久喜市立久喜中学校	人生100年時代に必要な備えとは？	144
589	3月5日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	36
590	3月5日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
591	3月6日	東京都	東京都立世田谷泉高等学校	成年になるということ	13
592	3月6日	東京都	東京都立世田谷泉高等学校	成年になるということ	12
593	3月6日	東京都	東京都立世田谷泉高等学校	成年になるということ	11
594	3月6日	東京都	東京都立世田谷泉高等学校	成年になるということ	16
595	3月6日	東京都	東京都立世田谷泉高等学校	成年になるということ	18
596	3月6日	東京都	東京都立世田谷泉高等学校	成年になるということ	15
597	3月7日	東京都	明治大学	公的年金と個人年金	13
598	3月7日	群馬県	高崎市立吉井中央中学校	成年になるということ	90
599	3月7日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	37
600	3月7日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
601	3月7日	東京都	東京都立世田谷泉高等学校	ほけんのキホン for Beginners	11
602	3月7日	東京都	東京都立世田谷泉高等学校	ほけんのキホン for Beginners	9
603	3月7日	東京都	東京都立世田谷泉高等学校	ほけんのキホン for Beginners	8
604	3月7日	東京都	東京都立世田谷泉高等学校	ほけんのキホン for Beginners	8
605	3月7日	東京都	東京都立世田谷泉高等学校	ほけんのキホン for Beginners	16
606	3月7日	東京都	東京都立世田谷泉高等学校	ほけんのキホン for Beginners	13
607	3月8日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	36
608	3月8日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
609	3月8日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	37
610	3月8日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
611	3月12日	東京都	東久留米市立南中学校	成年になるということ	145
612	3月12日	秋田県	秋田県立由利工業高等学校	君とみらいとライフプラン	62
613	3月12日	秋田県	秋田県立由利工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	62
614	3月12日	秋田県	秋田県立由利工業高等学校	君とみらいとライフプラン	55

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
615	3月12日	秋田県	秋田県立由利工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	55
616	3月13日	京都府	京都府立洛北高等学校附属中学校	成年になるということ	35
617	3月14日	東京都	東京都立江東商業高等学校	生活設計とリスクへの備え	27
618	3月14日	東京都	東京都立江東商業高等学校	生活設計とリスクへの備え	28
619	3月14日	東京都	東京都立江東商業高等学校	生活設計とリスクへの備え	27
620	3月14日	東京都	東京都立江東商業高等学校	生活設計とリスクへの備え	27
621	3月14日	東京都	東京都立江東商業高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
622	3月14日	東京都	東京都立江東商業高等学校	成年になるということ	27
623	3月14日	東京都	東京都立江東商業高等学校	成年になるということ	28
624	3月14日	東京都	東京都立江東商業高等学校	成年になるということ	27
625	3月14日	東京都	東京都立江東商業高等学校	成年になるということ	27
626	3月14日	東京都	東京都立江東商業高等学校	成年になるということ	29
627	3月15日	東京都	東京都立東村山高等学校	生活設計とリスクへの備え	23
628	3月15日	東京都	東京都立東村山高等学校	成年になるということ	23
629	3月15日	東京都	東京都立東村山高等学校	生活設計とリスクへの備え	20
630	3月15日	東京都	東京都立東村山高等学校	成年になるということ	20
631	3月15日	東京都	東京都立東村山高等学校	生活設計とリスクへの備え	21
632	3月15日	東京都	東京都立東村山高等学校	成年になるということ	21
633	3月15日	東京都	東京都立光丘高等学校	成年になるということ	30
634	3月15日	東京都	東京都立光丘高等学校	成年になるということ	30
635	3月15日	東京都	東京都立光丘高等学校	成年になるということ	29
636	3月15日	東京都	東京都立光丘高等学校	成年になるということ	25
637	3月15日	東京都	東京都立光丘高等学校	成年になるということ	28
638	3月15日	東京都	東京都立光丘高等学校	成年になるということ	29
639	3月15日	東京都	東京都立東村山高等学校	生活設計とリスクへの備え	20
640	3月15日	東京都	東京都立東村山高等学校	成年になるということ	20
641	3月15日	東京都	東京都立東村山高等学校	生活設計とリスクへの備え	24
642	3月15日	東京都	東京都立東村山高等学校	成年になるということ	24
643	3月15日	東京都	東京都立東村山高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
644	3月15日	東京都	東京都立東村山高等学校	成年になるということ	29
645	3月18日	東京都	東京都立深沢高等学校	成年になるということ	12
646	3月18日	東京都	東京都立深沢高等学校	成年になるということ	20
647	3月18日	東京都	東京都立深沢高等学校	成年になるということ	18
648	3月18日	東京都	東京都立深沢高等学校	成年になるということ	17
649	3月18日	東京都	東京都立深沢高等学校	成年になるということ	17
650	3月19日	東京都	東京都立大島高等学校	成年になるということ	4
651	3月19日	東京都	東京都立新宿高等学校	成年になるということ	38
652	3月19日	東京都	東京都立新宿高等学校	成年になるということ	37
653	3月19日	東京都	東京都立新宿高等学校	成年になるということ	35
654	3月19日	東京都	東京都立新宿高等学校	成年になるということ	37
655	3月19日	東京都	東京都立新宿高等学校	成年になるということ	38
656	3月19日	東京都	東京都立新宿高等学校	成年になるということ	37
657	3月19日	東京都	東京都立新宿高等学校	成年になるということ	40
658	3月19日	東京都	東京都立新宿高等学校	成年になるということ	39
659	3月19日	東京都	東京都立大島高等学校	生活設計とリスクへの備え	4
660	3月21日	東京都	東京都立八王子拓真高等学校	成年になるということ	179
661	3月27日	岩手県	盛岡大学短期大学部	生活設計とリスク管理	63

合計 31,543

3. 生命保険学習会開催状況一覧

(1) 消費者向け学習会

No.	開催月日	都道府県	主催団体	テーマ	受講者数
1	4月20日	東京都	杉並区立消費者センター	セカンドライフと生命保険	19
2	5月20日	佐賀県	財務省福岡県財務支局 佐賀財務事務所	生活設計とリスク管理	20
3	5月24日	愛知県	江南市市民サービス課	セカンドライフと生命保険	13
4	5月31日	東京都	板橋区消費者センター	子育て世代の生活設計と生命保険	22
5	6月15日	千葉県	千葉県柏市役所消費生活センター	生命保険の基礎知識	32
6	6月27日	北海道	函館消費者協会	医療保険と介護保険	13
7	7月12日	兵庫県	西宮市消費生活センター	公的年金と個人年金	32
8	7月21日	千葉県	市川市消費生活センター	医療保険と介護保険	19
9	8月17日	青森県	八戸市役所	セカンドライフと生命保険	14
10	9月7日	島根県	益田市社会福祉協議会	医療保険と公的年金	19
11	9月9日	東京都	豊島区地域区民ひろば課	子育て世代の生活設計と生命保険	3
12	9月9日	東京都	豊島区地域区民ひろば課	子育て世代の生活設計と生命保険	10
13	9月26日	岐阜県	退職者公務員連盟	医療保険と介護保険	22
14	9月26日	東京都	多摩市消費生活センター	セカンドライフと生命保険	6
15	9月27日	兵庫県	宍粟市人権推進課	セカンドライフと生命保険	17
16	9月28日	香川県	香川県社会福祉協議会	公的年金と個人年金	38
17	9月28日	香川県	香川県社会福祉協議会	生命保険の基礎知識	38
18	10月17日	大阪府	泉佐野市教育委員会 生涯学習課	生命保険と税金の知識	16
19	10月19日	千葉県	市原市生涯学習センター	セカンドライフと生命保険	13
20	10月24日	大阪府	寝屋川市立消費生活センター	セカンドライフと生命保険	12
21	10月28日	東京都	豊島区地域区民ひろば課	セカンドライフと生命保険	11
22	11月1日	山口県	山口市消費生活センター	生命保険の基礎知識	12
23	11月1日	京都府	宇治市東宇治図書館	セカンドライフと生命保険	7
24	11月1日	福岡県	二日市東コミュニティセンター	生命保険の基礎知識	14
25	11月1日	富山県	富山市民学習センター	セカンドライフと生命保険	31
26	11月15日	福岡県	二日市東コミュニティセンター	医療保険と介護保険	16
27	11月21日	栃木県	那須塩原市市民生活部生活課	生命保険と税金の知識	36
28	11月21日	東京都	東京都多摩消費生活センター	定年退職準備	43
29	11月29日	東京都	港区立生涯学習センター	生命保険と税金の知識	13
30	12月4日	鳥取県	公立鳥取環境大学	医療保険と介護保険	77
31	12月6日	福岡県	二日市東コミュニティセンター	公的年金と個人年金	17
32	12月11日	島根県	島根県消費とくらしの安全室	生命保険の基礎知識	7
33	12月15日	滋賀県	大津納税協会	公的年金と個人年金	30
34	12月20日	福岡県	二日市東コミュニティセンター	生命保険と税金の知識	19
35	12月21日	千葉県	千葉県旭市教育委員会 旭市民会館	生命保険と税金の知識	21
36	1月17日	福岡県	二日市東コミュニティセンター	子育て世代の生活設計と生命保険	14
37	2月2日	静岡県	静岡市西部生涯学習センター	セカンドライフと生命保険	16
38	2月18日	千葉県	千葉市産業振興財団	定年退職準備	7
39	2月22日	東京都	調布市生活文化スポーツ部文化生涯学習課	生命保険と税金の知識	17
40	3月6日	埼玉県	さいたま市立善前公民館	医療保険と介護保険	35
41	3月22日	宮城県	多賀城市総務部地域コミュニティ課	セカンドライフと生命保険	10

合計 831

(2) 従業員・職員向け学習会

No.	開催月日	都道府県	主催団体	テーマ	受講者数
1	4月12日	東京都	理研計器	新入社員向け研修	29
2	5月27日	東京都	三菱電機インフォメーションシステムズ労働組合	定年退職準備	36
3	6月1日	愛媛県	ダイキアキス	新入社員向け研修	17
4	6月2日	東京都	全日本電線関連産業労働組合連合会	定年退職準備	73
5	6月6日	東京都	駐留軍等労働者労務管理機構横田支部	定年退職準備	38
6	6月12日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構座間支部	公的年金と個人年金	53
7	6月12日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構座間支部	定年退職準備	53
8	6月14日	鳥取県	新日本海新聞社	新入社員向け研修	10
9	6月14日	東京都	駐留軍等労働者労務管理機構横田支部	定年退職準備	39
10	6月15日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構座間支部	公的年金と個人年金	50
11	6月15日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構座間支部	定年退職準備	50
12	6月22日	東京都	駐留軍等労働者労務管理機構横田支部	定年退職準備	16
13	7月14日	宮城県	宮城県警察本部警務部厚生課	医療保険と介護保険	35
14	8月3日	栃木県	公立学校共済組合栃木支部	定年退職準備	136
15	8月18日	愛知県	春日井市教育委員会学校教育課	公的年金と個人年金	61
16	8月19日	鹿児島県	公立学校共済組合鹿児島支部	医療保険と介護保険	25
17	8月19日	鹿児島県	公立学校共済組合鹿児島支部	定年退職準備	25
18	8月21日	栃木県	公立学校共済組合栃木支部	定年退職準備	152
19	9月1日	山口県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	定年退職準備	14
20	9月1日	山口県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	公的年金と個人年金	14
21	9月6日	広島県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	定年退職準備	10
22	9月6日	広島県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	公的年金と個人年金	10
23	9月8日	山口県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	定年退職準備	15
24	9月8日	山口県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	公的年金と個人年金	15
25	9月8日	新潟県	地方職員共済組合新潟県支部	子育て世代の生活設計と生命保険	12
26	9月11日	愛知県	財務省東海財務局	生命保険の基礎知識	45
27	9月11日	山口県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	定年退職準備	12
28	9月11日	山口県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	公的年金と個人年金	12
29	9月12日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	公的年金と個人年金	70
30	9月12日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	定年退職準備	70
31	9月20日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	公的年金と個人年金	80
32	9月20日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	定年退職準備	80
33	9月29日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	公的年金と個人年金	64
34	9月29日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	定年退職準備	64
35	10月11日	愛知県	興和工業所	公的年金と個人年金	17
36	10月11日	愛知県	興和工業所	定年退職準備	17
37	10月13日	鹿児島県	鹿児島県高等学校教職員組合	定年退職準備	20
38	11月8日	新潟県	新潟県警察本部警務部厚生課	子育て世代の生活設計と生命保険	75
39	11月10日	愛知県	豊橋市役所総務部人事課	定年退職準備	44
40	11月13日	栃木県	公立学校共済組合栃木支部	定年退職準備	53
41	11月17日	愛知県	豊橋市役所総務部人事課	定年退職準備	58
42	11月27日	大阪府	レッキス工業	定年退職準備	36
43	11月27日	大阪府	レッキス工業	公的年金と個人年金	36
44	12月1日	栃木県	栃木県経営管理部職員厚生課	子育て世代の生活設計と生命保険	22
45	12月8日	鹿児島県	鹿児島県地方・家庭裁判所	セカンドライフと生命保険	12
46	12月8日	栃木県	栃木県経営管理部職員厚生課	子育て世代の生活設計と生命保険	12
47	12月11日	岡山県	岡山県警察本部	子育て世代の生活設計と生命保険	26
48	12月15日	東京都	YAMAGIWA	セカンドライフと生命保険	17
49	12月18日	愛知県	Mizkan Partners	定年退職準備	7
50	12月19日	東京都	三菱電機インフォメーションシステムズ労働組合	新入社員向け研修	12
51	12月19日	愛知県	Mizkan Partners	定年退職準備	7
52	1月10日	大阪府	人事院近畿事務局	医療保険と介護保険	29
53	1月16日	東京都	農林水産省大臣官房秘書課	定年退職準備	27
54	1月30日	大阪府	人事院近畿事務局	医療保険と介護保険	39
55	2月9日	岐阜県	地方職員共済組合岐阜県支部	セカンドライフと生命保険	23
56	2月29日	埼玉県	国税庁税務大学校	生命保険の基礎知識	360
57	2月29日	埼玉県	国税庁税務大学校	生命保険の基礎知識	1,150
58	3月8日	東京都	ゼリア新薬工業	定年退職準備	29

合計 3,613

4. 相談員勉強会開催状況一覧

No.	開催月日	都道府県	主催団体	テーマ	受講者数
1	6月20日	徳島県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	14
2	6月22日	高知県	生命保険意見交換会	医療保障と介護保障、最近の保険商品のポイント等	10
3	7月8日	京都府	京都消費生活有資格者の会	セカンドライフと生命保険	16
4	7月8日	京都府	京都消費生活有資格者の会	公的年金と個人年金	16
5	7月8日	京都府	京都消費生活有資格者の会	医療保険と介護保険	17
6	7月10日	北海道	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	4
7	7月11日	和歌山県	生命保険意見交換会	医療保障と介護保障	9
8	7月13日	岐阜県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	4
9	7月13日	大分県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	14
10	7月14日	千葉県	千葉県消費生活相談員の会	相談事例から学ぶ生命保険	15
11	7月18日	山口県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	10
12	7月19日	石川県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	14
13	7月22日	富山県	全国消費生活相談員協会北陸支部	生命保険と税金、保険業法	9
14	7月27日	青森県	青森県消費生活センター	相談事例から学ぶ生命保険	14
15	7月28日	鹿児島県	生命保険意見交換会	最近の保険商品のポイント	21
16	8月1日	福岡県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	2
17	8月2日	福岡県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	9
18	8月18日	岩手県	岩手県立県民生活センター	生命保険の基礎知識、相談事例から学ぶ生命保険	15
19	8月20日	北海道	全国消費生活相談員協会北海道支部	相談事例から学ぶ生命保険	16
20	8月22日	佐賀県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	12
21	8月23日	山梨県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	8
22	8月30日	滋賀県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	3
23	8月30日	島根県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	6
24	9月6日	栃木県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	5
25	9月6日	長野県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	5
26	9月7日	神奈川県	生命保険意見交換会	最近の保険商品のポイント	9
27	9月8日	東京都	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	13
28	9月8日	埼玉県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	6
29	9月12日	北海道	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	8
30	9月13日	岡山県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	8
31	9月13日	宮城県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	14
32	9月13日	秋田県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	6
33	9月13日	鳥取県	生命保険意見交換会	医療保障と介護保障	6
34	9月14日	岩手県	生命保険意見交換会	最近の保険商品のポイント	5
35	9月16日	愛知県	全国消費生活相談員協会中部支部	最近の保険商品のポイント、相談事例から学ぶ生命保険	23
36	9月21日	北海道	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	8
37	9月27日	三重県	生命保険意見交換会	最近の保険商品のポイント	24
38	9月28日	茨城県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	5
39	10月4日	山形県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	10
40	10月10日	青森県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	6
41	10月18日	静岡県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	12
42	10月19日	北海道	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	9
43	10月21日	宮城県	NACS東北支部	相談事例から学ぶ生命保険	12
44	10月24日	群馬県	生命保険意見交換会	最近の保険商品のポイント、相談事例から学ぶ生命保険等	21
45	10月24日	北海道	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	7
46	10月27日	奈良県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	11
47	11月2日	千葉県	生命保険意見交換会	最近の保険商品のポイント	8
48	11月5日	東京都	全国消費生活相談員協会関東支部	生命保険と税金	45
49	11月7日	沖縄県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	10
50	11月7日	香川県	生命保険意見交換会	最近の保険商品のポイント	6
51	11月8日	北海道	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	5
52	11月8日	熊本県	生命保険意見交換会	最近の保険商品のポイント	10
53	11月9日	京都府	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	11
54	11月10日	長崎県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険、医療保障と介護保障	11

No.	開催月日	都道府県	主催団体	テーマ	受講者数
55	11月11日	山形県	NACS山形分科会	相談事例から学ぶ生命保険	8
56	11月15日	北海道	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	10
57	11月15日	富山県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	12
58	11月15日	福井県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	6
59	11月16日	大阪府	生命保険意見交換会	最近の保険商品のポイント	4
60	11月22日	愛媛県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	6
61	11月30日	愛知県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	14
62	12月9日	福岡県	全国消費生活相談員協会九州支部	相談事例から学ぶ生命保険	20
63	1月13日	東京都	日本消費者協会	生命保険の基礎知識	10
64	1月18日	宮崎県	宮崎県消費生活センター	相談事例から学ぶ生命保険	47
65	1月20日	東京都	日本消費者協会	相談事例から学ぶ生命保険	5
66	1月20日	宮城県	全国消費生活相談員協会東北支部	相談事例から学ぶ生命保険	9
67	1月24日	福島県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	6
68	1月25日	兵庫県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	14
69	1月27日	徳島県	NACS西日本支部	相談事例から学ぶ生命保険	17
70	2月8日	宮城県	仙台みやぎ消費者支援ネット	セカンドライフと生命保険	7

合計 792

5. 相談内容別件数（一般相談）

区分	相談内容	2023年度			2022年度	
		累計	占率	前年度比	累計	占率
I 既契約の見直しに関する相談 (理由)	1 保険料負担を減らしたい	16	2.1%	133.3%	12	1.5%
	2 保障を減らしたい	6	0.8%	85.7%	7	0.9%
	3 保障内容を変更（増額含む）したい	2	0.3%	66.7%	3	0.4%
	① 保険料の支払いが困難になったので	8	33.3%	133.3%	6	27.3%
	② 保険料をもっと儉約できるのではないかと思って	5	20.8%	125.0%	4	18.2%
	③ 保障が少ないと思うので	0	0.0%	-	0	0.0%
	④ 保障が多いと思うので	5	20.8%	125.0%	4	18.2%
⑤ 生活環境の変化（結婚・就職・出生等）に合わせて	4	16.7%	100.0%	4	18.2%	
⑥ その他	2	8.3%	50.0%	4	18.2%	
		24	3.2%	109.1%	22	2.7%
II 既契約の診断・内容確認に関する相談 (理由)	1 既契約の保障内容を診断して欲しい	19	2.5%	100.0%	19	2.4%
	2 既契約の内容確認をしたい	47	6.3%	102.2%	46	5.7%
	① 保障内容が分からなくなったので	35	53.0%	100.0%	35	53.8%
	② 自分に合っているのか不安だから	20	30.3%	100.0%	20	30.8%
	③ 生活環境の変化（結婚・就職・出生等）に合わせて	5	7.6%	166.7%	3	4.6%
④ その他	6	9.1%	85.7%	7	10.8%	
		66	8.8%	101.5%	65	8.1%
III 生命保険の加入検討の相談 (理由)	1 商品内容を教えて欲しい	7	0.9%	100.0%	7	0.9%
	2 商品選択のポイントについて教えて欲しい	21	2.8%	123.5%	17	2.1%
	3 自分のニーズに合っているか教えて欲しい	26	3.5%	92.9%	28	3.5%
	4 販売している会社を教えて欲しい	12	1.6%	85.7%	14	1.7%
	5 転換における注意点を教えて欲しい	1	0.1%	-	0	0.0%
	① 営業職員や代理店から勧められている新契約が妥当かどうか確認したいので	21	31.3%	123.5%	17	25.8%
	② 営業職員や代理店から勧められている転換が妥当かどうか確認したいので	5	7.5%	125.0%	4	6.1%
	③ 自分で選んだ保険が妥当かどうか確認したいので	8	11.9%	160.0%	5	7.6%
	④ 生活環境の変化（結婚・就職・出生等）に合わせて	6	9.0%	60.0%	10	15.2%
	⑤ 商品内容に関心を持ったことから	18	26.9%	72.0%	25	37.9%
⑥ その他	9	13.4%	180.0%	5	7.6%	
		67	9.0%	101.5%	66	8.2%
IV 契約条件に関する相談	1 告知義務について教えて欲しい	45	6.0%	90.0%	50	6.2%
	2 契約年齢範囲について教えて欲しい	0	0.0%	0.0%	1	0.1%
		45	6.0%	88.2%	51	6.4%
V 生命保険の仕組み・税金・保全に関する相談	1 生命保険の仕組みについて教えて欲しい	145	19.4%	92.4%	157	19.6%
	2 税金について教えて欲しい	120	16.0%	101.7%	118	14.7%
	3 各種手続きについて教えて欲しい	130	17.4%	82.3%	158	19.7%
		395	52.8%	91.2%	433	54.0%
VI 社会保障制度に関する相談	1 社会保障制度について教えて欲しい	23	3.1%	100.0%	23	2.9%
VII その他	1 営業職員・代理店に関する問い合わせ	82	11.0%	83.7%	98	12.2%
	2 その他	46	6.1%	104.5%	44	5.5%
		128	17.1%	90.1%	142	17.7%
一般相談合計		748	100%	93.3%	802	100%

6. 新聞・雑誌・テレビからの取材対応

<新聞> 14回

	取材対応日	新聞(社)名	取材内容
1	2023/5/16	愛媛新聞社	中学生作文コンクール
2	2023/5/23	岐阜新聞社	中学生作文コンクール
3	2023/5/24	上毛新聞社	中学生作文コンクール
4	2023/5/25	山梨日日新聞社	中学生作文コンクール
5	2023/5/25	山陽新聞社	中学生作文コンクール
6	2023/5/29	四国新聞社	中学生作文コンクール
7	2023/5/29	熊本日日新聞社	中学生作文コンクール
8	2023/6/13	毎日新聞社	当センターHP
9	2023/7/20	日本経済新聞社	全国実態調査
10	2023/8/2	山梨日日新聞社	ねんきんガイド
11	2023/8/3	山梨日日新聞社	ねんきんガイド
12	2023/11/14	聖教新聞社	ねんきん記事掲載に関して
13	2024/1/26	山梨日日新聞社	ライフプラン情報ブック
14	2024/2/2	山梨日日新聞社	ライフプラン情報ブック

<テレビ> 1回

	取材対応日	テレビ局名	取材内容
1	2023/7/7	テレビ山梨「スゴろく」	生活保障に関する調査

7. 研究会の開催状況

※開催月日順→発表順で掲載

(1) 保険事例研究会

<東京>

	開催月日	テ ー マ
1	5月10日	死亡保険金について特別受益に準ずる持戻し（民法903条類推適用）を否定した事例
2	6月7日	変更後の受取人の実在性
3	7月5日	精神病による入院の支払事由該当性
4	9月6日	不慮の事故の存否、事故の一連性
5	10月4日	保険金受取人変更時の契約者の意思能力
6	11月1日	解約手続きへの民法478条の類推適用の可否
7	12月6日	保険契約締結の有効性－未成年者の保護と親権者の同意－
8	1月10日	がん保険に基づく入院給付金の支払事由該当性
9	2月7日	先進医療保障の多件数加入による重大事由解除

<大阪>

	開催月日	テ ー マ
1	5月12日	免責条項における重過失の成否
2	6月9日	先進医療特約の重複多数加入による重大事由解除
3	7月14日	保険者による詐欺または保険業法違反に基づく不法行為の成否
4	9月8日	不払い検証時の見舞金等の支払いと任務懈怠責任
5	10月13日	告知義務違反の成否
6	11月10日	保険金受取人変更において、架空人ではなく実在の人物であるとされた事例
7	12月8日	不慮の事故の存否、一連の事故の一体性
8	1月12日	精神病による入院の支払事由該当性
9	2月9日	「逆養老」あるいは「逆ハーフタックスプラン」と称する節税保険商品に関する説明義務違反

(2) 生保・金融法制研究会

	開催月日	テ	ー	マ
1	6月2日	社会的インパクトの開示に関する動向について		
2	8月4日	英国の傷害保険法制について—accident概念をめぐる議論を中心に—		
3	9月22日	会社・株主間の株式の取扱いに関する合意と合意違反の行為への対抗策		
4	12月1日	四半期開示の制度見直しと今後の展望		
5	3月5日	金融商品取引法等の一部を改正する法律を踏まえた金融経済教育に係る動向		

(3) 生命保険会計研究会

	開催月日	テ	ー	マ
1	6月13日	企業結合と無形資産		
2	8月1日	ソルベンシー規制とガバナンス		
3	11月6日	経済価値ベースのソルベンシー規制等の状況		
4	1月15日	IASBの活動状況のアップデート		
5	3月27日	わが国のサステナビリティ情報の保証業務の現状について		

(4) 生保関係法制研究会

	開催月日	テ	ー	マ
1	5月31日	生命保険契約における反社会的勢力対応を巡る考察		
2	7月26日	消費者契約法の行方と生命保険契約		
3	10月16日	マイナンバー制度を通じた生命保険実務におけるデータ利活用		
4	11月29日	疾病保険における不必要入院への対応 —医療の質保証		
5	1月10日	人々のウェルビーイングと生命保険の可能性 ～ファイナンシャル・ウェルビーイングの視点も交えながら～		
6	2月28日	生命保険契約と相続法との交錯問題の検討		

(5) 生命保険基本判例研究会

	開催月日	テ	ー	マ
1	5月19日	説明義務違反、適合性の原則（保険業法、金商法）		
2	6月16日	遡及保険（責任開始期、承諾前死亡、特別条件を付すべきとき）		
3	7月21日	保険約款の効力（拘束力の根拠、保険約款の変更、民法の定型約款規定）		
4	9月15日	保険金受取人の変更（保険法前後の規律、遺言による変更）		
5	11月17日	保険金請求権の性質等（固有権性、未払年金現価請求権、特別受益・遺留分との関係、遺産分割対象となったときの扱い）		
6	12月15日	告知義務違反①（重要事項、主観的・客観的要件、特別の事情、因果関係、復活時）		
7	1月19日	告知義務違反②（保険媒介者の告知妨害・不告知教唆、保険会社の過失・取扱疎漏）		
8	2月16日	消費者契約法・無催告失効条項		

(6) 家族が多様化する時代の保険のあり方に関する研究会

	開催月日	テ	ー	マ
1	5月22日	「家族のリスク化と生活保障」ー生命保険との関わりの観点からー		
2	7月26日	①家族研究の非家族論的転回 ②親族にかわる関係をどうつくるかー生協による任意後見の取り組みー		
3	9月29日	①恋愛/性行動のリスク意識ーマッチングアプリ利用と若者の出会い ②a. 生命保険会社におけるリスクについて b. 生保各社の子ども関連取り組みのご紹介		
4	12月28日	①AI等テクノロジーと無償労働の未来 ②人々のウェルビーイングと生命保険の可能性 ～ファイナンシャル・ウェルビーイングの視点も交えながら～		
5	2月8日	①家計内の個人に焦点を当てた生命保険に関する実証研究 ーこれまでの研究成果をもとにー ②加齢と意思決定ーSIP事業も含めてー		
6	3月8日	①一年間を通しての研究会総括 ②次年度の運営について～一年目の運営を終えて～		

8. 研究助成者・研究テーマ一覧

※氏名（共同研究者の場合は研究代表者）五十音順で掲載
 ※共同研究は、筆頭者を研究代表者とし、2人目以降の共同研究者は申請書記載順

<若手研究者>

No.	氏名	大学・学部	役職	研究テーマ
1	稲倉 典子	四国大学 経営情報学部	准教授	新型コロナウイルス・パンデミック前後の保険需要を用いた家計の選好推定 ～「生命保険に関する全国実態調査」を用いたアプローチ～
	藤井 陽一朗	明治大学 商学部	専任准教授	
2	植木 祐太	慶應義塾大学 大学院商学研究科	博士課程 1年	健康増進型保険が保険加入行動に与える影響
3	川本 晃史	順天堂大学 医学部 放射線治療学講座	准教授	前立腺癌患者の生命保険加入状況と定位放射線治療のニーズを探索する前向き調査 -都心及び地域の病院間での比較-
4	酒井 郷平	常葉大学 教育学部	講師	学校教員を対象とした「保険」に対する意識とリスク教育の実施に関する調査研究
5	高瀬 和也	鹿児島大学 大学院教育学研究科	助教	保険を題材とするパフォーマンス評価を用いた子供向けリスク教育の開発 -収入・支出・リスク・保険の4観点に着目した生活設計学習の効果測定-
6	富田 洋介	東洋学園大学 現代経営学部	准教授	社会主義から資本主義への移行期を経験した国における生命保険会社 -生命保険会社のアセットアロケーションおよび財務状況を中心とした覚書
7	西田 尚輝	東京大学 大学院総合文化研究科 国際社会科学専攻	博士課程 4年	フランス国営ザールラント鉱山における臨時社会保障レジーム1919年-1935年 -生命保険会社による外国人社会権の保護?-
8	八重島 崇宏	関西大学 大学院ガバナンス研究科	博士後期 課程	デジタルディバイドが生命保険加入実態に及ぼす影響に関する一考察

<一般研究者>

No.	氏名	大学・学部	役職	研究テーマ
1	大澤 彩	法政大学 法学部	教授	保険契約約款における中心条項規制について—フランス法と比較して—
2	大塚 忠義	早稲田大学 商学大学院	教授	低所得世帯におけるリスクへの準備状況分析 —生活保障の充実を考慮した世帯加入率の引き上げ政策への考察—
	崔 桓碩	八戸学院大学 地域経営学部	准教授	
	岡田 太	日本大学 商学部	教授	
	谷口 豊	早稲田大学 商学大学院	非常勤講師	
3	上村 一樹	甲南大学 マネジメント創造学部	准教授	生命保険受け取り時の「終身年金パズル」の実態—長寿リスクの誤認がおよぼす影響—
	駒村 康平	慶應義塾大学 経済学部	教授	
4	菅野 正泰	日本大学 商学部 商学研究科	教授	COVID-19 パンデミック等外部要因リスクを考慮した市場分析
5	山下 徹哉	京都大学 大学院法学研究科	教授	傷害保険における「急激性」要件の機能・内容の再検討

9. 保険学セミナー・保険学セミナー懇談会の開催状況

※開催月日順→発表順で掲載

保険学セミナー〈東京〉

開催月日	テ ー マ
4月15日	生命・傷害疾病保険契約における重大事由解除に関する一考察 —最近の判例を契機として
	女性の金融・保険知識は本当に低いのか？
5月20日	金融リテラシー教育における「保険」を用いたパフォーマンス評価の開発
	眼球運動測定装置を用いた保険の加入意思決定に関する研究
	ドイツ法の旅行保証基金と我が国の旅行業者の保証金制度 —保険の活用
7月15日	生命保険会社の価値を最大化するコーポレートガバナンスについての一考察： 株主第一主義、ステークホルダー理論、エージェンシー理論、スチュワードシップ理論による検証
	生命保険会社のコーポレートガバナンス—健全性規制との関係を探る—
	保険契約における契約者の属性に関する民事法・消費者法的観点からの研究
9月16日	生命保険広告のリスク・コミュニケーション —消費者のリスク認知に対するマーケティング・バイアスの影響力—
	情報提供に関する損害賠償責任の損害を巡る法的問題
12月9日	生体臓器提供と保険
	生保業界におけるカスタマーハラスメントについての複合的研究
1月20日	栄養問題と機関投資家のスチュワードシップ責任 —生命保険会社に期待される役割
	パンデミックと生命保険市場 —市場規律の視点から—

保険学セミナー<大阪>

開催月日	テ ー マ	
4月8日	保険法と刑法の交錯としての「詐欺」の意義に関する覚書	
	多様化する生命保険加入チャンネルと加入行動 —保険リテラシーの視点—	
	保険事故発生通知義務の存在意義とは？	
5月13日	保険契約におけるリスク防衛手段規制の再検討：モンゴル法との比較	
	中小企業の福利厚生（年金・退職金）に関する制度・実証分析 —中退共（中小企業退職金共済）を中心として—	
	傷害保険事故の急激性に関する一考察	
7月8日	保険法51条3号における「保険金受取人」の範囲 ——高松高裁平成26年9月12日判決を再考する——	
	保険契約の募集における適合性原則～商品特性と顧客意向	
9月9日	生命保険契約における死後事務委任費用の検討	
	再考：生活保障システムと生命保険産業	
12月16日	通達と公正処理基準との関係についての一考察 —支払保険料における逆基準性の観点から—	
	カーネマンの『ファスト&スロー』と保険商品	
1月27日	日本におけるアクティビストの現状と法的諸問題	
	保険カルテル事件と課徴金納付命令に関する考察	

保険学セミナー懇談会<東京・大阪>

開催月日	場所	テ ー マ
4月15日	東京	2022年度 生活保障に関する調査の概要
7月8日 9月16日	大阪 東京	「顧客本位の業務運営に関する原則」の一部ルール化と生保会社 における対応
9月9日	大阪	四半期開示の制度見直しと今後の展望
12月9日	東京	マイナンバー制度を通じた生命保険実務におけるデータ利活用
1月20日	東京	「金融商品取引法等の一部を改正する法律」を踏まえた金融経済 教育に係る動向
1月27日	大阪	保険会社における生成AIの活用と法的課題

10. 生命保険論集の掲載状況

※生命保険論集掲載順で掲載、敬称略

※所属・役職は生命保険論集掲載時点のもの

発刊号 (発行月)	種別	タイトル	所属	役職	氏名
223号 (6月)	講演	生命保険とサステナブルファイナンスの深い関係	高崎経済大学	学長	水口 剛
	論文	二つの保険制度について—中出説の検討	西南学院大学	教授	小川 浩昭
	論文	契約内容規制における考慮事由としての当事者利益の外延 —ドイツ約款法における「一般利益 [Allgemeininteressen]」をめぐる議論を契機に—	近畿大学	准教授	石上 敬子
	論文	生命保険会社におけるヘッジ会計処理に関する検討	成城大学 龍谷大学	准教授 教授	羽根 佳祐 井手 健二
	論文	多様化する生命保険加入チャンネルと加入行動 —保険リテラシーの視点—	大阪電気通信大学	非常勤講師	荒木 千秋
	論文	生命保険契約に家族信託が設定される場合における保険契約上必要な手続きと法的な留意点	住友生命保険相互会社		矢野 慎治郎
	学生論文	企業のリスクとBCPの策定要因 —コーポレートガバナンスの視点—	慶應義塾大学商学部 柳瀬典由研究会		齊藤 由樹 万丈 景佑 高良 航遥 河野 瑞月
224号 (9月)	査読済み論文	日本における介護保険パズルの解明に係る考察	早稲田大学	非常勤講師 教授	谷口 豊 大塚 忠義
	一般論文	生命・傷害疾病保険契約における重大事由解除に関する一考察 —最近の判例を契機として—	創価大学	教授	黒木 松男
	一般論文	バーチャル株主総会・バーチャル総代会の法的諸問題	関西大学	教授	北村 雅史
	一般論文	保険知識と金融知識の水準の決定要因 - 保険知識は資産運用の知識と違うのか? -	明治大学	教授	浅井 義裕
	一般論文	ESR情報の信頼性をどのように担保するのか? : 企業会計との完全分離か、収斂か?	静岡県立大学	教授	上野 雄史
	一般論文	眼球運動測定装置を用いた保険の加入意思決定に関する研究	北海学園大学 早稲田大学 明治大学 早稲田大学	講師 助教 准教授 教授	村上 始 川杉 桂太 藤井 陽一朗 竹村 和久
225号 (12月)	論文	暴力団排除条項と生命保険契約の契約当事者の属性に関する一考察	福島大学	教授	福島 雄一
	論文	生命保険会社のコーポレートガバナンス —健全性規制との関係を探る—	福岡大学	教授	植村 信保
	論文	保険約款の解釈について	北海道大学	教授	山本 哲生
	論文	ドイツ保険契約法28条が定めるarglistigという要件	北海道大学	教授	三宅 新
	論文	中小企業の福利厚生(年金・退職金)に関する制度分析 —中小企業退職金共済を中心として—	長崎県立大学	教授	壁谷 順之
	論文	通達と公正処理基準との関係についての—考察 —支払保険料における逆基準性の観点から—	熊本学園大学	准教授	宮崎 裕士
	論文	金融リテラシー教育における「保険」を用いたパフォーマンス評価の開発	常葉大学 鹿児島大学	講師 助教	酒井 郷平 高瀬 和也
	論文	保険法制度におけるリスク防衛手段規制の再検討: モンゴル法との比較	九州大学	博士 後期課程	サランゲレルバ トバヤル
	論文	保険金受取人変更の意思表示の解釈と無効の範囲	山田和男法律事務所	弁護士	山田 康裕

発刊号 (発行月)	種別	タイトル	所属	役職	氏名
226号 (3月)	研究会報告	生命保険・生活保障に関する調査の学術的活用のあり方	慶應義塾大学	教授	柳瀬 典由
	論文	保険契約における偶然性概念 —立証責任の視座からの考察—	愛知学院大学	客員教授	山野 嘉朗
	論文	金融リテラシーとリタイアメント・プランニング — 個人型確定拠出年金 iDeCo に注目して —	東海大学 県立広島大学 京都産業大学	准教授 教授 教授	西田 小百合 村上 恵子 西村 佳子
	論文	神経発達症（発達障害）と医療・保険制度	関西大学	教授	原 弘明
	論文	生命保険会社の価値を最大化するコーポレートガバナンスについての—考察—株主第一主義、ステークホルダー理論、エージェンシー理論、スチュワードシップ理論による検証—	青山学院大学	教授	伊藤 晴祥
	論文	生命保険契約と死後事務委任費用に関する—考察—少額短期保険の葬儀保険を例に—	武蔵野大学	准教授	金尾 悠香
	論文	前立腺癌患者の生命保険加入状況と定位放射線治療のニーズを探索する調査 —都心および地域の病院間での比較—	順天堂大学	准教授	川本 晃史
	論文	高齢者に関する生命保険契約の締結をめぐる法的課題の整理	金沢大学	准教授	石尾 智久

2023年度

第13期事業報告書

2024年6月

公益財団法人 生命保険文化センター

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1
新国際ビル3階

TEL (03) 5220-8510

URL <https://www.jili.or.jp/>

